股票代碼：1735

日勝化工股份有限公司及子公司

合併財務報告暨會計師查核報告

民國102及101年度

地址：南投縣南投市南崗工業區工業南二路7號

電話：(049)2255357

§目　　錄§

項目	頁次	財務報表附註編號
一、封　　面	1	-
二、目　　錄	2	-
三、關係企業合併財務報告聲明書	3	-
四、會計師查核報告	4	-
五、合併資產負債表	5	-
六、合併綜合損益表	6～7	-
七、合併權益變動表	8	-
八、合併現金流量表	9～10	-
九、合併財務報告附註		
(一) 公司沿革	11	一
(二) 通過財務報告之日期及程序	11	二
(三) 新發布及修訂準則及解釋之適用	11～13	三
(四) 重大會計政策之彙總說明	13～23	四
(五) 重大會計判斷、估計及假設不確定性之主要來源	23～24	五
(六) 重要會計項目之說明	24～45	六～二五
(七) 關係人交易	45～47	二六
(八) 質抵押之資產	47	二七
(九) 重大或有負債及未認列之合約承諾	47	二八
(十) 重大之災害損失	-	-
(十一) 重大之期後事項	-	-
(十二) 外幣金融資產及負債之匯率資訊	47～48	二九
(十三) 附註揭露事項		
1. 重大交易事項相關資訊	48～49	三十
2. 轉投資事業相關資訊	48～49	三十
3. 大陸投資資訊	49	三十
(十四) 部門資訊	49～51	三一
(十五) 首次採用國際財務報導準則	51～58	三二

關係企業合併財務報告聲明書

本公司 102 年度（自 102 年 1 月 1 日至 102 年 12 月 31 日止）依「關係企業合併營業報告書關係企業合併財務報表及關係報告書編製準則」應納入編製關係企業合併財務報告之公司與依國際會計準則第 27 號應納入編製母子公司合併財務報告之公司均相同，且關係企業合併財務報告所應揭露相關資訊於前揭母子公司合併財務報告中均已揭露，爰不再另行編製關係企業合併財務報告。

特此聲明

公司名稱：日勝化工股份有限公司

負責人：何　文　杰

中　華　民　國　103　年　3　月　24　日

Deloitte.
勤業眾信

勤業眾信聯合會計師事務所
10596 台北市民生東路三段156號12樓

Deloitte & Touche
12th Floor, Hung Tai Financial Plaza
156 Min Sheng East Road, Sec. 3
Taipei 10596, Taiwan, ROC

Tel :+886 (2) 2545-9988
Fax:+886 (2) 2545-9966
www.deloitte.com.tw

會計師查核報告

日勝化工股份有限公司　公鑒：

日勝化工股份有限公司及其子公司民國 102 年 12 月 31 日、民國 101 年 12 月 31 日及 1 月 1 日之合併資產負債表，暨民國 102 年及 101 年 1 月 1 日至 12 月 31 日之合併綜合損益表、合併權益變動表與合併現金流量表，業經本會計師查核竣事。上開合併財務報表之編製係管理階層之責任，本會計師之責任則為根據查核結果對上開合併財務報表表示意見。

本會計師係依照會計師查核簽證財務報表規則及一般公認審計準則規劃並執行查核工作，以合理確信合併財務報告有無重大不實表達。此項查核工作包括以抽查方式獲取合併財務報告所列金額及所揭露事項之查核證據、評估管理階層編製合併財務報告所採用之會計原則及所作之重大會計估計，暨評估合併財務報告整體之表達。本會計師相信此項查核工作可對所表示之意見提供合理之依據。

依本會計師之意見，第一段所述合併財務報表在所有重大方面係依照證券發行人財務報告編製準則、經金融監督管理委員會認可之國際財務報導準則、國際會計準則、解釋及解釋公告編製，足以允當表達日勝化工股份有限公司及其子公司民國 102 年 12 月 31 日、民國 101 年 12 月 31 日及 1 月 1 日之合併財務狀況，暨民國 102 年及 101 年 1 月 1 日至 12 月 31 日之合併財務績效及合併現金流量。

日勝化工股份有限公司業已編製民國 102 及 101 年度之個體財務報告，並經本會計師出具無保留意見之查核報告在案，備供參考。

勤業眾信聯合會計師事務所
會計師　蔣淑菁

會計師　洪國田

行政院金融監督管理委員會核准文號
金管證審字第 1000028068 號

財政部證券暨期貨管理委員會核准文號
台財證六字第 0920123784 號

中華民國 103 年 3 月 24 日

Member of Deloitte Touche Tohmatsu Limited

日勝化工股份有限公司及其子公司

合併資產負債表

民國 102 年 12 月 31 日暨民國 101 年 12 月 31 日及 1 月 1 日

單位：新台幣仟元

代碼	資產	102年12月31日 金額	%	101年12月31日 金額	%	101年1月1日 金額	%
	流動資產（附註四）						
1100	現金及約當現金（附註六）	$ 346,806	9	$ 425,568	11	$ 370,749	9
1147	無活絡市場之債券投資－流動（附註七及二七）	83,508	2	79,603	2	22,742	1
1150	應收票據淨額（附註五及八）	93,550	3	123,049	3	158,259	4
1170	應收帳款淨額（附註五及八）	1,403,372	38	1,330,718	34	1,276,583	33
1180	應收帳款－關係人淨額（附註五及二六）	9,060	-	36,759	1	52,110	1
1200	其他應收款（附註二六）	80,890	2	92,609	3	73,567	2
130X	存　　貨（附註九）	679,648	18	671,693	17	731,064	19
1470	其他流動資產（附註十三及二七）	111,127	3	163,471	4	152,683	4
11XX	流動資產總計	2,807,961	75	2,923,470	75	2,837,757	73
	非流動資產（附註四）						
1543	以成本衡量之金融資產－非流動（附註十）	32,418	1	30,711	1	31,679	1
1600	不動產、廠房及設備（附註十一及二七）	808,038	22	852,012	22	908,348	23
1760	投資性不動產淨額（附註十二）	2,139	-	2,288	-	3,278	-
1801	電腦軟體淨額	7,785	-	7,339	-	2,752	-
1840	遞延所得稅資產（附註四、五及二十）	8,484	-	8,240	-	6,703	-
1915	預付設備款	19,794	1	5,663	-	54,945	2
1920	存出保證金	1,745	-	14,145	1	1,171	-
1960	預付投資款	7,172	-	6,794	-	7,009	-
1985	長期預付租賃款（附註十三及二七）	24,889	1	24,544	1	34,381	1
15XX	非流動資產總計	912,464	25	951,736	25	1,050,266	27
1XXX	資　產　總　計	$ 3,720,425	100	$ 3,875,206	100	$ 3,888,023	100
代碼	負債及權益						
	流動負債						
2100	短期借款（附註十四及二七）	$ 1,015,313	27	$ 782,493	20	$ 1,097,247	28
2110	應付短期票券（附註十四）	109,927	3	136,519	3	129,899	3
2150	應付票據	224,471	6	222,278	6	153,875	4
2170	應付帳款（附註二六）	421,794	11	533,497	14	334,433	9
2200	其他應付款（附註十五）	177,649	5	171,488	4	173,926	4
2220	其他應付款項－關係人（附註二六）	2,566	-	358,689	9	374,044	10
2230	當期所得稅負債（附註四及二十）	30,797	1	31,117	1	16,651	-
2250	負債準備－流動（附註四及十六）	5,030	-	971	-	1,049	-
2322	一年內到期長期銀行借款（附註十四及二七）	24,000	1	20,625	1	18,440	1
2399	其他流動負債－其他	38,018	1	22,130	1	9,716	-
21XX	流動負債總計	2,049,565	55	2,279,807	59	2,309,280	59
	非流動負債						
2541	長期銀行借款（附註十四及二七）	114,500	3	45,528	1	55,127	1
2570	遞延所得稅負債（附註四、五及二十）	35,648	1	33,538	1	22,642	1
2640	應付退休金負債（附註四及十七）	15,060	1	24,324	1	27,960	1
2645	存入保證金	480	-	-	-	-	-
25XX	非流動負債總計	165,688	5	103,390	3	105,729	3
2XXX	負債總計	2,215,253	60	2,383,197	62	2,415,009	62
	歸屬於本公司業主之權益						
3110	普通股股本－每股面額 10 元，額定 120,000 仟股；102 年發行 102,388 仟股，101 年發行 91,788 仟股	1,023,880	27	917,880	24	917,880	24
3200	資本公積	101,808	3	94,034	2	94,034	2
	保留盈餘						
3310	法定盈餘公積	161,659	4	152,719	4	149,854	4
3320	特別盈餘公積	20,698	1	-	-	-	-
3350	未分配盈餘	79,077	2	102,144	2	58,969	1
3400	其他權益	(138)	-	(6,701)	-	-	-
3500	庫藏股票	(33,791)	(1)	(33,791)	(1)	(8,660)	-
31XX	本公司業主權益總計	1,353,193	36	1,226,285	31	1,212,077	31
36XX	非控制權益	151,979	4	265,724	7	260,937	7
3XXX	權益總計	1,505,172	40	1,492,009	38	1,473,014	38
	負債與權益總計	$ 3,720,425	100	$ 3,875,206	100	$ 3,888,023	100

後附之附註係本合併財務報告之一部分

董事長：何文杰　　經理人：何文杰　　會計主管：吳寶華

日勝化工股份有限公司及子公司

合併綜合損益表

民國 102 年及 101 年 1 月 1 日至 12 月 31 日

單位：新台幣仟元，惟每股盈餘為元

代碼		102年度 金額	102年度 %	101年度 金額	101年度 %
4000	營業收入淨額（附註四及二六）	$ 4,726,442	100	$ 4,844,019	100
5000	營業成本（附註九、十七、十九及二六）	4,162,125	88	4,293,469	88
5900	營業毛利	564,317	12	550,550	12
	營業費用（附註十七及十九）				
6100	推銷費用	182,391	4	201,931	4
6200	管理費用	196,075	4	189,297	4
6300	研究發展費用	62,630	1	39,301	1
6000	營業費用合計	441,096	9	430,529	9
6900	營業淨利	123,221	3	120,021	3
	營業外收入及支出				
7100	利息收入	3,718	-	5,368	-
7190	其他收入	9,798	-	20,623	-
7230	外幣兌換淨利益（附註十九）	27,916	1	1,959	-
7250	處分投資利益（附註二二）	81	-	66,289	1
7510	利息費用	(45,637)	(1)	(61,699)	(1)
7590	什項支出（附註十九）	(23,298)	(1)	(20,049)	-
7000	營業外收入及支出合計	(27,422)	(1)	12,491	-
7900	稅前淨利	95,799	2	132,512	3
7950	所得稅費用（附註四及二十）	38,477	1	47,707	1
8200	本年度淨利	57,322	1	84,805	2

（接次頁）

（承前頁）

代碼		102年度 金額	102年度 %	101年度 金額	101年度 %
	其他綜合損益（附註四）				
8310	國外營運機構財務報表換算之兌換差額	$ 16,155	-	($ 17,396)	(1)
8360	確定福利計畫精算損失（附註十七）	(214)	-	(2,231)	-
8399	與其他綜合損益組成部分相關之所得稅（附註二十）	(3,357)	-	3,808	-
8300	本年度其他綜合損益（稅後淨額）	12,584	-	(15,819)	(1)
8500	本年度綜合損益總額	$ 69,906	1	$ 68,986	1
	淨利歸屬於：				
8610	本公司業主	$ 66,949	1	$ 72,752	2
8620	非控制權益	(9,627)	-	12,053	-
8600		$ 57,322	1	$ 84,805	2
	綜合損益總額歸屬於：				
8710	本公司業主	$ 73,334	1	$ 64,199	1
8720	非控制權益	(3,428)	-	4,787	-
8700		$ 69,906	1	$ 68,986	1
	每股盈餘（附註二一）				
9710	基本	$ 0.69		$ 0.82	
9810	稀釋	$ 0.68		$ 0.82	

後附之附註係本合併財務報告之一部分

董事長：何文杰 經理人：何文杰 會計主管：吳寶華

日勝化工股份有限公司及子公司

合併權益變動表

民國 102 年及 101 年 1 月 1 日至 12 月 31 日

單位：新台幣仟元，惟每股股利為元

代碼		歸屬於本公司業主之權益：普通股股本	資本公積（附註十八）	保留盈餘（附註十八及二一）：法定盈餘公積	特別盈餘公積	未分配盈餘	國外營運機構財務報表換算之兌換差額	庫藏股票（附註十八）	總計	非控制權益（附註二三）	權益總計
A1	101 年 1 月 1 日餘額	$ 917,880	$ 94,034	$ 149,854	$ -	$ 58,969	$ -	($ 8,660)	$ 1,212,077	$ 260,937	$ 1,473,014
	100 年度盈餘指撥及分配										
B1	法定盈餘公積	-	-	2,865	-	(2,865)	-	-	-	-	-
B5	本公司股東現金股利－每股 0.28 元	-	-	-	-	(24,860)	-	-	(24,860)	-	(24,860)
D1	101 年度淨利	-	-	-	-	72,752	-	-	72,752	12,053	84,805
D3	101 年度稅後其他綜合損益	-	-	-	-	(1,852)	(6,701)	-	(8,553)	(7,266)	(15,819)
D5	101 年度綜合損益總額	-	-	-	-	70,900	(6,701)	-	64,199	4,787	68,986
L1	買回庫藏股	-	-	-	-	-	-	(25,131)	(25,131)	-	(25,131)
Z1	101 年 12 月 31 日餘額	917,880	94,034	152,719	-	102,144	(6,701)	(33,791)	1,226,285	265,724	1,492,009
	101 年度盈餘指撥及分配										
B1	法定盈餘公積	-	-	8,940	-	(8,940)	-	-	-	-	-
B3	特別盈餘公積	-	-	-	20,698	(20,698)	-	-	-	-	-
B5	本公司股東現金股利－每股 0.6 元	-	-	-	-	(59,633)	-	-	(59,633)	-	(59,633)
D1	102 年度淨利	-	-	-	-	66,949	-	-	66,949	(9,627)	57,322
D3	102 年度稅後其他綜合損益	-	-	-	-	(178)	6,563	-	6,385	6,199	12,584
D5	102 年度綜合損益總額	-	-	-	-	66,771	6,563	-	73,334	(3,428)	69,906
E1	現金增資	106,000	41,022	-	-	-	-	-	147,022	-	147,022
M5	取得或處分子公司股權價格與帳面價值差額	-	(33,248)	-	-	(567)	-	-	(33,815)	(110,317)	(144,132)
Z1	102 年 12 月 31 日餘額	$ 1,023,880	$ 101,808	$ 161,659	$ 20,698	$ 79,077	($ 138)	($ 33,791)	$ 1,353,193	$ 151,979	$ 1,505,172

後附之附註係本合併財務報告之一部分

董事長：何文杰　　經理人：何文杰　　會計主管：吳寶華

日勝化工股份有限公司及子公司

合併現金流量表

民國 102 年及 101 年 1 月 1 日至 12 月 31 日

單位：新台幣仟元

代碼		102 年度	101 年度
	營業活動之現金流量		
A10000	本年度稅前淨利	$ 95,799	$ 132,512
A20000	不影響現金流量之收益費損項目		
A20100	折舊費用	106,412	119,905
A20200	攤銷費用	2,687	2,675
A20300	呆帳費用（迴轉利益）	20,686	(14,865)
A20900	利息費用	45,637	61,699
A21200	利息收入	(3,718)	(5,368)
A22500	處分及報廢不動產、廠房及設備損失（利益）	446	(2,619)
A23100	處分投資利益	(81)	(66,289)
A23700	非金融資產減損損失	16,750	-
A23800	非金融資產減損迴轉利益	-	(6,806)
A24100	外幣兌換損失	4,450	3,249
A30000	營業資產及負債之淨變動數		
A31130	應收票據	29,499	34,006
A31150	應收帳款	(66,034)	(48,207)
A31180	其他應收款	12,473	(23,286)
A31200	存　　貨	(24,705)	65,248
A31240	其他流動資產	52,344	(10,894)
A32130	應付票據	2,193	73,116
A32150	應付帳款	(110,801)	198,409
A32180	其他應付款項	7,224	10,288
A32200	負債準備	4,059	(78)
A32230	其他流動負債	15,888	12,414
A32240	應計退休金負債	(9,442)	(5,488)
A33000	營運產生之現金流入	201,766	529,621
A33100	收取之利息	3,718	5,368
A33300	支付之利息	(45,674)	(74,583)
A33500	支付之所得稅	(36,931)	(20,086)
AAAA	營業活動之淨現金流入	122,879	440,320

（接次頁）

（承前頁）

代　碼		102 年度	101 年度
	投資活動之現金流量		
B00600	取得無活絡市場之債券投資	($ 96,317)	($ 135,441)
B00700	處分無活絡市場之債券投資價款	94,068	78,580
B02300	處分子公司之淨現金流入	-	108,014
B02700	購置不動產、廠房及設備	(1,221)	(33,649)
B02800	處分不動產、廠房及設備價款	190	20,171
B03700	存出保證金減少（增加）	12,400	(12,974)
B04300	其他應收款增加	(504)	-
B04500	其他非流動資產增加	(2,483)	(9,168)
B07100	預付設備款增加	(70,020)	(25,063)
B07300	其他預付款項增加	(442)	-
B07400	其他預付款項減少	809	-
BBBB	投資活動之淨現金流出	(63,520)	(9,530)
	籌資活動之現金流量		
C00100	短期借款增加	3,011,690	3,125,348
C00200	短期借款減少	(2,788,750)	(3,411,664)
C00500	應付短期票券增加（減少）	(26,592)	6,620
C01600	舉借長期借款	144,500	90,653
C01700	償還長期銀行借款	(72,153)	(98,067)
C03000	存入保證金增加	480	-
C03800	其他應付款－關係人減少	(365,113)	(24,972)
C04500	發放現金股利	(59,633)	(24,860)
C04600	現金增資	147,022	-
C04900	庫藏股票買回成本	-	(25,131)
C05400	取得子公司股權	(146,998)	-
CCCC	籌資活動之淨現金流出	(155,547)	(362,073)
DDDD	匯率變動對現金之影響	17,426	(13,898)
EEEE	本年度現金增加（減少）數	(78,762)	54,819
E00100	年初現金餘額	425,568	370,749
E00200	年底現金餘額	$ 346,806	$ 425,568

後附之附註係本合併財務報告之一部分

董事長：何文杰　　經理人：何文杰　　會計主管：吳寶華

日勝化工股份有限公司及子公司

合併財務報告附註

民國 102 年及 101 年 1 月 1 日至 12 月 31 日

（金額除另予註明外，為新台幣及外幣仟元）

一、公司沿革

日勝化工股份有限公司（以下稱「本公司」）於 78 年成立，本公司股票原於 89 年於櫃買中心掛牌後，於 91 年於台灣證券交易所掛牌上市。

本公司主要經營之業務為合成樹脂及合成化學原料之製造及銷售及相關業務之經營及轉投資。

二、通過財務報告之日期及程序

本合併財務報告於 103 年 3 月 24 日提報董事會後發布。

三、新發布及修訂準則及解釋之適用

本公司及由本公司所控制個體（以下稱「合併公司」）未適用下列業經國際會計準則理事會（IASB）發布之國際財務報導準則（IFRS）、國際會計準則（IAS）、解釋（IFRIC）及解釋公告（SIC）。依據金融監督管理委員會（以下稱「金管會」）於 103 年 1 月 28 日宣布之「我國全面升級採用國際財務報導準則版本之推動架構」，上市上櫃公司及興櫃公司應自 104 年起由金管會認可之 2010 年版 IFRS、IAS、IFRIC 及 SIC（以下稱「IFRSs」）升級至 2013 年版 IFRSs（不含 IFRS 9「金融工具」）。截至本合併財務報告通過發布日止，金管會尚未認可下列歸屬於 2013 年版 IFRSs 之新／修正／修訂準則及解釋，且尚未發布非屬 2013 年版 IFRSs 之新／修正／修訂準則及解釋生效日。

已納入 2013 年版 IFRSs 之新／修正準則及解釋	IASB 發布之生效日（註 1）
IFRSs 之修正「IFRSs 之改善－對 IAS 39 之修正（2009 年）」	2009 年 1 月 1 日或 2010 年 1 月 1 日
IAS 39 之修正「嵌入式衍生工具」	於 2009 年 6 月 30 日以後結束之年度期間生效
「IFRSs 之改善（2010 年）」	2010 年 7 月 1 日或 2011 年 1 月 1 日

（接次頁）

（承前頁）

已納入 2013 年版 IFRSs 之新／修正準則及解釋	IASB 發布之生效日（註 1）
「2009 年-2011 年週期之 IFRSs 年度改善」	2013 年 1 月 1 日
IFRS 1 之修正「IFRS 7 之比較揭露對首次採用者之有限度豁免」	2010 年 7 月 1 日
IFRS 1 之修正「嚴重高度通貨膨脹及首次採用者固定日期之移除」	2011 年 7 月 1 日
IFRS 1 之修正「政府貸款」	2013 年 1 月 1 日
IFRS 7 之修正「揭露－金融資產及金融負債互抵」	2013 年 1 月 1 日
IFRS 7 之修正「揭露－金融資產之移轉」	2011 年 7 月 1 日
IFRS 10「合併財務報表」	2013 年 1 月 1 日
IFRS 11「聯合協議」	2013 年 1 月 1 日
IFRS 12「對其他個體權益之揭露」	2013 年 1 月 1 日
IFRS 10、IFRS 11 及 IFRS 12 之修正「合併財務報表、聯合協議及對其他個體權益之揭露：過渡規定指引」	2013 年 1 月 1 日
IFRS 10、IFRS 12 及 IAS 27 之修正「投資個體」	2014 年 1 月 1 日
IFRS 13「公允價值衡量」	2013 年 1 月 1 日
IAS 1 之修正「其他綜合損益項目之表達」	2012 年 7 月 1 日
IAS 12 之修正「遞延所得稅：標的資產之回收」	2012 年 1 月 1 日
IAS 19 之修訂「員工福利」	2013 年 1 月 1 日
IAS 27 之修訂「單獨財務報表」	2013 年 1 月 1 日
IAS 28 之修訂「投資關聯企業及合資」	2013 年 1 月 1 日
IAS 32 之修正「金融資產及金融負債互抵」	2014 年 1 月 1 日
IFRIC 20「露天礦場於生產階段之剝除成本」	2013 年 1 月 1 日

未納入 2013 年版 IFRSs 之新／修正準則及解釋	
「2010 年-2012 年週期之 IFRSs 年度改善」	2014 年 7 月 1 日（註 2）
「2011 年-2013 年週期之 IFRSs 年度改善」	2014 年 7 月 1 日
IFRS 9「金融工具」	註 3
IFRS 9 及 IFRS 7 之修正「強制生效日及過渡揭露」	註 3
IFRS 14「管制遞延帳戶」	2016 年 1 月 1 日
IAS 19 之修正「確定福利計畫：員工提撥」	2014 年 7 月 1 日
IAS 36 之修正「非金融資產可回收金額之揭露」	2014 年 1 月 1 日
IAS 39 之修正「衍生工具之合約更替及避險會計之繼續」	2014 年 1 月 1 日
IFRIC 21「徵收款」	2014 年 1 月 1 日

註 1：除另註明外，上述新／修正／修訂準則或解釋係於各該日期以後開始之年度期間生效。

註 2：給與日於 2014 年 7 月 1 日以後之股份基礎給付交易開始適用 IFRS 2 之修正；收購日於 2014 年 7 月 1 日以後之企業合併開始適用 IFRS 3 之修正；IFRS 13 於修正時即生效。其餘修正係適用於 2014 年 7 月 1 日以後開始之年度期間。

註 3：IASB 將 IFRS 9 生效日暫定為 2018 年 1 月 1 日以後開始之年度期間。

首次適用新／修正／修訂準則或解釋將不致造成合併公司會計政策之重大變動。截至本合併財務報告通過發布日止，合併公司仍持續評估其他準則、解釋及證券發行人財務報告編製準則之修正對財務狀況與經營結果之影響，相關影響待評估完成時予以揭露。

四、重大會計政策之彙總說明

依據金管會於 98 年 5 月 14 日宣布之「我國企業採用國際會計準則推動架構」，上市上櫃公司及興櫃公司應自 102 年起依證券發行人財務報告編製準則暨經金管會認可之 IFRSs 編製財務報告。

合併公司 102 年度合併財務報告係為首份 IFRSs 年度合併財務報告。合併公司轉換至 IFRSs 日為 101 年 1 月 1 日。轉換至 IFRSs 對合併公司合併財務報告之影響說明，係列於附註三二。

(一) 遵循聲明

本合併財務報告係依照證券發行人財務報告編製準則及經金管會認可之 IFRSs 編製。

(二) 編製基礎

除按公允價值衡量之金融工具外，本合併財務報告係依歷史成本基礎編製。歷史成本通常係依取得資產所支付對價之公允價值決定。

合併公司於轉換至 IFRSs 日之初始資產負債表係依據 IFRS 1「首次採用國際財務報導準則」之規定認列與衡量，除該準則所規定禁止追溯適用部分 IFRSs 之規定，以及對部分 IFRSs 之規定給予豁免選擇外（豁免選擇參閱附註三二），合併公司係追溯適用 IFRSs 之規定。

(三) 資產與負債區分流動與非流動之標準

流動資產包括：

1. 主要為交易目的而持有之資產；
2. 預期於資產負債表日後 12 個月內實現之資產；及
3. 現金及約當現金（但不包括於資產負債表日後逾 12 個月用以交換或清償負債而受到限制者）。

流動負債包括：

1. 主要為交易目的而持有之負債；
2. 預期於資產負債表日後 12 個月內到期清償之負債（即使於資產負債表日後至通過發布財務報告前已完成長期性之再融資或重新安排付款協議，亦屬流動負債），以及
3. 不能無條件將清償期限遞延至資產負債表日後至少 12 個月之負債。惟負債之條款可能依交易對方之選擇，以發行權益工具而導致其清償者，並不影響分類。

非屬上述流動資產或流動負債者，係分類為非流動資產或非流動負債。

(四) 合併基礎

1. 合併報告編製原則

本合併財務報告係包含本公司及由其公司所控制個體之財務報告。

合併綜合損益表已納入被收購或被處分子公司於當期自收購日起或至處分日止之營運損益。

子公司之財務報告已予調整，以使其會計政策與合併公司之會計政策一致。

於編製合併財務報告時各個體間之交易、帳戶餘額、收益及費損已全數予以銷除。

<u>分攤綜合損益總額至非控制權益</u>

子公司之綜合損益總額係歸屬至本公司業主及非控制權益，即使非控制權益因而成為虧損餘額。

對子公司所有權權益變動

當合併公司對子公司所有權權益之變動未導致喪失控制者，係作為權益交易處理。合併公司及非控制權益之帳面金額已予調整，以反映其於子公司相對權益之變動。非控制權益之調整金額與所支付或收取對價之公允價值間之差額，係直接認列為權益且歸屬於本公司業主。

當合併公司喪失對子公司之控制時，處分損益係為下列兩者之差額：(1)所收取對價之公允價值與對前子公司之剩餘投資按喪失控制日之公允價值合計數，以及(2)前子公司之資產與負債及非控制權益按喪失控制日之帳面金額合計數。合併公司對於其他綜合損益中所認列與該子公司有關之所有金額，其會計處理係與合併公司直接處分相關資產或負債所必須遵循之基礎相同。

對前子公司剩餘投資係按喪失控制日之公允價值作為原始認列之金額。

2. 列入合併財務報告之子公司

本合併財務報告編製主體如下：

			所持股權百分比		
			102年	101年	101年
投資公司名稱	子公司名稱	業務性質	12月31日	12月31日	1月1日
本公司	NEOLITE INVESTMENTS LIMITED（NEOLITE）	財務投資及國際貿易	100	100	100
	肯美特材料科技股份有限公司（肯美特公司）	塗料、顏料及工業助劑批發業	47.92	47.92	47.92
	克哲國際貿易有限公司（克哲公司）	化工原料之買賣業務	100	100	100
肯美特公司	EVERMAT INVESTMENT LIMITED（EVERMAT）	投資業	100	100	100
EVERMAT	CHEM-MAT TECHNOLOGIES, INC.（CHEM-MAT）	塗料、顏料及工業助劑批發業	100	100	100
克哲公司	NEOTOP INVESTMENT LIMITED （NEOTOP）	財務投資及國際貿易	100	-	-
NEOTOP	博帝(上海)貿易有限公司（博帝上海公司）	化工產品批發	100	-	-
NEOLITE	LIBERTY BELL INVESTMENTS LTD. (LIBERTY BELL)	財務投資及國際貿易	100	51	51
	博帝(上海)貿易有限公司（博帝上海公司）	化工產品批發	-	100	100

（接次頁）

（承前頁）

投資公司名稱	子公司名稱	業務性質	所持股權百分比 102年12月31日	101年12月31日	101年1月1日
NEOLITE	江蘇德發樹脂有限公司（江蘇德發公司）	聚氨脂樹脂	51	51	51
	達信企業有限公司（達信公司）	財務投資及國際貿易	100	100	100
	鹽城德鴻樹脂有限公司（鹽城德鴻公司）	聚氨脂樹脂	65.7	65.7	65.7
	鹽城德寶建材有限公司（鹽城德寶公司）	環保節能新型牆體免燒空心磚塊	51	51	51
	溫州德泰樹脂有限公司（溫州德泰公司）	聚氨脂樹脂	-	-	100
LIBERTY BELL	東莞寶建鞋材有限公司（東莞寶建公司）	PU樹脂生產及銷售	100	100	100

NEOTOP 於 102 年 10 月向 NEOLITE 以美金 2,000 仟元購買博帝上海公司 100%股份。

本公司於 102 年 9 月對 NEOLITE 現金增資美金 3,000 仟元，同時 NEOLITE 對 LIBERTY BELL 現金增資美金 5,000 仟元。

本公司於 102 年 9 月對克哲公司現金增資 79,363 仟元，另克哲公司盈餘轉增資 5,637 仟元。

NEOLITE 於 102 年 3 月以美金 5,000 仟元向關係人香港裕元工業（集團）有限公司（裕元集團）購入 LIBERTY BELL 49%股份後，持有該公司 100%股份。

NEOLITE 於 101 年 9 月處分溫州德泰公司全數股權。

(五) 企業合併

企業合併係採收購法處理。收購相關成本於成本發生及勞務取得當年度列為費用。

商譽係按移轉對價之公允價值、被收購者之非控制權益金額以及收購者先前已持有被收購者之權益於收購日之公允價值之總額，超過收購日所取得可辨認資產及承擔負債之淨額衡量。倘於重評估後，收購日所取得可辨認資產及承擔負債之淨額仍超過移轉對價、被收購者之非控制權益以及收購者先前已持有被收購者之權益於收購日公允價值之總數，則該差額為廉價購買利益，並立即認列為損益。

(六) 外　　幣

各個體編製財務報告時，以個體功能性貨幣以外之貨幣（外幣）交易者，依交易日匯率換算為功能性貨幣記錄。於每一資產負債表日，外幣貨幣性項目以收盤匯率換算。因交割貨幣性項目或換算貨幣性項目產生之兌換差額，於發生當年度認列於損益。

以歷史成本衡量之外幣非貨幣性項目係以交易日之匯率換算，不再重新換算。

於編製合併財務報告時，合併公司國外營運機構之子公司資產及負債以每一資產負債表日匯率換算為新台幣。收益及費損項目係以當年度平均匯率換算，所產生之兌換差額認列為其他綜合損益（並分別歸屬予本公司業主及非控制權益）。

在處分國外營運機構並構成對該國外營運機構喪失控制、聯合控制或重大影響時，所有與該國外營運機構相關可歸屬於本公司業主之權益將重分類為損益。

(七) 存　　貨

存貨包括原物料、在製品、製成品及商品。存貨係以成本與淨變現價值孰低衡量，比較成本與淨變現價值時除同類別存貨外係以逐項比較法為基礎。淨變現價值係指在正常情況下之估計售價減除至完工尚需投入之估計成本及完成出售所需之估計成本後之餘額。存貨成本之計算係採加權平均法。

(八) 不動產、廠房及設備

不動產、廠房及設備係以成本衡量認列，後續以成本減除累計折舊及累計減損損失後之金額衡量。

建造中之不動產、廠房及設備係以成本減除累計減損損失後之金額認列。該等資產於完工並達預期使用狀態時，分類至不動產、廠房及設備之適當類別並開始提列折舊。

不動產、廠房及設備係採直線基礎提列折舊，對於每一重大部分則單獨提列折舊。合併公司至少於每一年度結束日對估計耐用年限、殘值及折舊方法進行檢視。會計估計變動之影響係以推延方式處理。土地不提列折舊。

除列不動產、廠房及設備所產生之利益或損失金額，係淨處分價款與該資產帳面金額間之差額，並且認列於當年度損益。

(九) 投資性不動產

投資性不動產係為賺取租金或資本增值或兩者兼具而持有之不動產。投資性不動產亦包括目前尚未決定未來用途所持有之土地。

投資性不動產原始以成本（包括交易成本）衡量，後續以成本減除累計折舊及累計減損損失後之金額衡量。合併公司採直線基礎提列折舊。

除列投資性不動產所產生之利益或損失金額，係淨處分價款與該資產帳面金額間之差額，並且認列於當年度損益。

(十) 無形資產

單獨取得之有限耐用年限無形資產原始以成本衡量，後續係以成本減除累計攤銷及累計減損損失後之金額衡量。合併公司以直線基礎進行攤銷，並且至少於每一年度結束日對估計耐用年限、殘值及折舊方法進行檢視。除合併公司預期於該無形資產經濟年限屆滿前處分該資產外，有限耐用年限無形資產之殘值估計為零。會計估計變動之影響係以推延方式處理。

除列無形資產所產生之利益或損失金額，係淨處分價款與該資產帳面金額間之差額，並且認列於當年度損益。

(十一) 有形及無形資產之減損

合併公司於每一資產負債表日評估是否有任何跡象顯示有形及無形資產可能已減損。若有任一減損跡象存在，則估計該資產之可回收金額。倘無法估計個別資產之可回收金額，合併公司估計該資產所屬現金產生單位之可回收金額。共用資產係依合理一致基礎分攤至個別現金產生單位。

可回收金額為公允價值減出售成本與其使用價值之較高者。個別資產或現金產生單位之可回收金額若低於其帳面金額時，將該資產或現金產生單位之帳面金額調減至其可回收金額。

當減損損失於後續迴轉時，該資產或現金產生單位之帳面金額調增至修訂後之可回收金額，惟增加後之帳面金額以不超過該資產或現金產生單位若未於以前年度認列減損損失時所決定之帳面金額（減除攤銷或折舊）。減損損失之迴轉係認列於損益。

(十二) 金融工具

金融資產與金融負債於合併公司成為該工具合約條款之一方時認列於合併資產負債表。

原始認列金融資產與金融負債時，若金融資產或金融負債非屬透過損益按公允價值衡量者，係按公允價值加計直接可歸屬於取得或發行金融資產或金融負債之交易成本衡量。直接可歸屬於取得或發行透過損益按公允價值衡量之金融資產或金融負債之交易成本，則立即認列為損益。

<u>金融資產</u>

金融資產之慣例交易係採交易日會計認列及除列。

1. 衡量種類

放款及應收款（包括現金及約當現金、無活絡市場之債券投資、應收票據、應收帳款、其他應收款及存出保證金）係採用有效利息法按攤銷後成本減除減損損失後之金額衡量，惟短期應收款項之利息認列不具重大性之情況除外。

約當現金包括自取得日起 3 個月內、高度流動性、可隨時轉換成定額現金且價值變動風險甚小之附買回債券，係用於滿足短期現金承諾。

2. 金融資產之減損

合併公司係於每一資產負債表日評估其他金融資產是否有減損客觀證據，當有客觀證據顯示，因金融資產原始認列後發生之單一或多項事項，致使金融資產之估計未來現金流量受損失者，該金融資產即已發生減損。

按攤銷後成本列報之金融資產，如應收票據、應收帳款及其他應收款，該資產經個別評估未有客觀減損證據，另再集體評估減損。應收款集體存在之客觀減損證據可能包含合併公司

過去收款經驗、集體超過平均授信期間之延遲付款增加情況，以及與應收款拖欠有關之可觀察全國性或區域性經濟情勢變化。

按攤銷後成本列報之金融資產之減損損失金額，係該資產帳面金額與估計未來現金流量按該金融資產原始有效利率折現之現值間之差額。

按攤銷後成本列報之金融資產於後續期間減損損失金額減少，且經客觀判斷該減少與認列減損後發生之事項有關，則先前認列之減損損失直接或藉由調整備抵帳戶予以迴轉認列於損益，惟該迴轉不得使金融資產帳面金額超過若未認列減損情況下於迴轉日應有之攤銷後成本。

以成本衡量之金融資產之減損損失金額係該資產帳面金額與估計未來現金流量按類似金融資產之現時市場報酬率折現之現值間之差額。此種減損損失於後續期間不得迴轉。

所有金融資產之減損損失係直接自金融資產之帳面金額中扣除，惟應收款項係藉由備抵帳戶調降其帳面金額。當判斷應收款項無法收回時，係沖銷備抵帳戶。原先已沖銷而後續收回之款項則貸記備抵帳戶。除因應收帳款無法回收而沖銷備抵帳戶外，備抵帳戶帳面金額之變動認列於損益。

3. 金融資產之除列

合併公司僅於對來自金融資產現金流量之合約權利失效，或已移轉金融資產且該資產所有權之幾乎所有風險及報酬已移轉予其他企業時，始將金融資產除列。

於一金融資產整體除列時，其帳面金額與所收取對價加計已認列於其他綜合損益之任何累計利益或損失之總和間之差額係認列於損益。

<u>金融負債</u>

1. 後續衡量

金融負債係以有效利息法按攤銷後成本衡量。

2. 金融負債之除列

除列金融負債時，其帳面金額與所支付對價（包含任何所移轉之非現金資產或承擔之負債）間之差額認列為損益。

(十三) 負債準備

認列為負債準備之金額係考量義務之風險及不確定性，而為資產負債表日清償義務所需支出之最佳估計。若負債準備係以清償該現時義務之估計現金流量衡量，其帳面金額係為該等現金流量之現值（若貨幣之時間價值影響重大）。

(十四) 收入認列

收入係按已收或應收對價之公允價值衡量，並扣除估計之客戶退貨、折扣及其他類似之折讓。銷貨退回係依據以往經驗及其他攸關因素合理估計未來之退貨金額提列。

1. 商品之銷售

銷售商品係於下列條件完全滿足時認列收入：

(1) 合併公司已將商品所有權之重大風險及報酬移轉予買方；

(2) 合併公司對於已經出售之商品既不持續參與管理，亦未維持有效控制；

(3) 收入金額能可靠衡量；

(4) 與交易有關之經濟效益很有可能流入合併公司；及

(5) 與交易有關之已發生或將發生之成本能可靠衡量。

2. 利息收入

金融資產之利息收入係於經濟效益很有可能流入合併公司，且收入金額能可靠衡量時認列。利息收入係依時間之經過按流通在外本金與所適用之有效利率採應計基礎認列。

(十五) 租　　賃

當租賃條款係移轉附屬於資產所有權之幾乎所有風險與報酬予承租人，則將其分類為融資租賃。所有其他租賃則分類為營業租賃。

合併公司為承租人之營業租賃給付係按直線基礎於租賃期間內認列為費用；而或有租金於發生當年度認列為費用。

(十六) 退職後福利

屬確定提撥退休計畫之退休金，係於員工提供服務之期間，將應提撥之退休金數額認列為當年度費用。

屬確定福利退休計畫之退休金，提供福利之成本係使用預計單位福利法進行精算評價。確定福利義務產生之所有精算損益於發生期間立即認列於其他綜合損益。

應計退休金負債係代表確定福利義務之現值，並減除計畫資產公允價值後之金額。

確定福利退休計畫發生縮減或清償時，認列縮減或清償之損益。

(十七) 所得稅

所得稅費用係當年度所得稅及遞延所得稅之總和。

1. 當年度所得稅

依所得稅法規定計算之未分配盈餘加徵 10%所得稅列為股東會決議年度之所得稅費用。

以前年度應付所得稅之調整，列入當年度所得稅。

2. 遞延所得稅

遞延所得稅係依合併財務報告帳載資產及負債帳面金額與計算課稅所得之課稅基礎二者所產生之暫時性差異予以認列。遞延所得稅負債一般係就所有應課稅暫時性差異予以認列，而遞延所得稅資產則於很有可能有課稅所得以供可減除暫時性差異及研究發展等支出所產生之所得稅抵減使用時認列。暫時性差異若係由其他資產及負債原始認列所產生，且交易當時既不影響課稅所得亦不影響會計利潤者，不認列為遞延所得稅資產及負債。

與投資子公司相關之應課稅暫時性差異皆認列遞延所得稅負債，惟合併公司若可控制暫時性差異迴轉之時點，且該暫時性差異很有可能於可預見之未來不會迴轉者除外。與此類投資及權益有關之可減除暫時性差異所產生之遞延所得稅資產，僅於其很有可能有足夠課稅所得用以實現暫時性差異之利益，且於可預見之未來預期將迴轉之範圍內，予以認列。

遞延所得稅資產之帳面金額於每一資產負債表日予以重新檢視，並針對已不再很有可能有足夠之課稅所得以供其回收所有或部分資產者，調減帳面金額。原未認列為遞延所得稅資產者，亦於每一資產負債表日予以重新檢視，並在未來很有可能產生課稅所得以供其回收所有或部分資產者，調增帳面金額。

遞延所得稅資產及負債係以預期負債清償或資產實現當期之稅率衡量，該稅率係以資產負債表日已立法或已實質性立法之稅率及稅法為基礎。遞延所得稅負債及資產之衡量係反映企業於資產負債表日預期回收或清償其資產及負債帳面金額之方式所產生之租稅後果。

3. 本年度之當年度及遞延所得稅

當年度及遞延所得稅係認列於損益，惟與認列於其他綜合損益或直接計入權益之項目相關之當期及遞延所得稅係分別認列於其他綜合損益或直接計入權益。

五、<u>重大會計判斷、估計及假設不確定性之主要來源</u>

合併公司於採用會計政策時，對於不易自其他來源取得相關資訊者，管理階層必須基於歷史經驗及其他攸關之因素作出相關之判斷、估計及假設。實際結果可能與估計有所不同。

管理階層將持續檢視估計與基本假設。若估計之修正僅影響當期，則於修正當期認列；若會計估計之修正同時影響當期及未來期間，則於修正當期及未來期間認列。

(一)所　得　稅

遞延所得稅資產之可實現性主要視未來能否有足夠之獲利或應課稅暫時性差異而定。若未來實際產生之獲利少於預期，可能會產生重大遞延所得稅資產之迴轉，該等迴轉係於發生期間認列為損益。

(二) 應收帳款之估計減損

當有客觀證據顯示減損跡象時，合併公司會考量未來現金流量之估計。減損損失之金額係以該資產之帳面金額及估計未來現金流量（排除尚未發生之未來信用損失）按該金融資產之原始有效利率折現之現值間的差額衡量。若未來實際現金流量少於預期，可能會產生減損損失。

(三) 存貨之減損

存貨淨變現價值係正常營業過程中之估計售價減除至完工尚需投入之估計成本及完成出售所需之估計成本後之餘額估計，該等估計係依目前市場狀況及類似產品之歷史銷售經驗評估，市場情況之改變可能重大影響該等估計結果。

六、現金及約當現金

	102年12月31日	101年12月31日	101年1月1日
零用金及庫存現金	$ 465	$ 3,755	$ 9,206
銀行存款	330,841	421,813	361,543
約當現金			
附買回債券	15,500	-	-
	$ 346,806	$ 425,568	$ 370,749

資產負債表日之市場利率區間如下：

	102年12月31日	101年12月31日	101年1月1日
銀行存款	0.02%-0.5%	0.02%-0.44%	0.02%-0.5%
附買回債券	0.53%	-	-

七、無活絡市場之債券投資－流動

	102年12月31日	101年12月31日	101年1月1日
原始定存到期日超過3個月之定期存款	$ 83,508	$ 79,603	$ 22,742

資產負債表日之市場利率區間如下：

	102年12月31日	101年12月31日	101年1月1日
原始定存到期日超過3個月之定期存款	3.05%-3.3%	3.05%	3.08%

無活絡市場之債券投資質押之資訊，參閱附註二七。

八、應收票據及應收帳款

	102年12月31日	101年12月31日	101年1月1日
應收票據			
因營業而發生	$ 93,163	$ 119,134	$ 157,887
非因營業而發生	387	3,915	372
	$ 93,550	$ 123,049	$ 158,259

	102年12月31日	101年12月31日	101年1月1日
應收帳款	$1,500,847	$1,404,598	$1,367,422
減：備抵呆帳	(97,475)	(73,880)	(90,839)
	$1,403,372	$1,330,718	$1,276,583

合併公司對商品銷售之平均授信期間為 60 天至 90 天，於決定應收帳款可回收性時，合併公司考量應收帳款自原始授信日至資產負債表日信用品質之任何改變。備抵呆帳係參考交易對方過去拖欠記錄及分析其目前財務狀況，以估計無法回收之金額。

合併公司之客戶群廣大且相互無關聯，故信用風險之集中度有限。

已減損應收帳款之帳齡（依逾期日為基準）分析如下：

	102年12月31日	101年12月31日	101年1月1日
60 天以下	$ 52,667	$ 34,619	$ 54,083
61 天至 90 天	21,139	11,407	7,257
91 天至 120 天	9,890	8,051	5,134
120 天以上	57,479	50,524	36,777
合　　計	$ 141,175	$ 104,601	$ 103,251

應收帳款之備抵呆帳變動資訊如下：

	102 年度	101 年度
年初餘額	$ 73,880	$ 90,839
本年度提列（迴轉）呆帳費用	20,686	(14,865)
外幣換算差額	2,909	(2,094)
年底餘額	$ 97,475	$ 73,880

九、存　　貨

	102年12月31日	101年12月31日	101年1月1日
製 成 品	$ 277,096	$ 269,405	$ 268,657
商　　品	37,699	40,095	39,511
在 製 品	11,567	12,978	27,749
原 物 料	335,343	314,850	380,832
在途存貨	17,943	34,365	14,315
	$ 679,648	$ 671,693	$ 731,064

102 及 101 年度與存貨相關之營業成本分別為 4,162,125 仟元及 4,293,469 仟元。

102 及 101 年度之營業成本分別包括存貨跌價損失 16,750 仟元及存貨淨變現價值回升利益 6,806 仟元，存貨淨變現價值回升係因原物料價格回升所致。

十、以成本衡量之金融資產－非流動

	102年12月31日	101年12月31日	101年1月1日
射陽德成樹脂有限公司	$ 30,204	$ 28,614	$ 29,516
寧靖鹽高速公路有限公司	2,214	2,097	2,163
	$ 32,418	$ 30,711	$ 31,679

合併公司所持有之上述國外未上市櫃股票投資，於資產負債表日係按成本減除減損損失衡量，因其公允價值合理估計數之區間重大且無法合理評估各種估計之機率，致合併公司管理階層認為其公允價值無法可靠衡量。

十一、不動產、廠房及設備

102 年度	年初餘額	增加	減少	重分類	淨兌換差額	合併個體變動影響數	年底餘額
成本							
土地	$ 248,175	$ -	$ -	$ -	$ -	$ -	$ 248,175
房屋及建築	477,141	-	(24,751)	5,850	8,617	-	466,857
機器設備	979,416	-	(310)	27,716	14,547	-	1,021,369
運輸設備	14,114	-	(441)	3,077	121	-	16,871
租賃改良物	161,436	-	-	(165,041)	3,605	-	-
其他設備	172,082	-	(5,379)	22,540	2,858	-	192,101
未完工程	-	219	-	-	1	-	220
成本合計	2,052,364	$ 219	($ 30,881)	($ 105,858)	$ 29,749	$ -	1,945,593
累計折舊							
房屋及建築	226,992	$ 37,010	($ 24,320)	($ 15,447)	$ 5,418	$ -	229,653
機器設備	693,538	55,329	(182)	-	11,679	-	760,364
運輸設備	8,457	2,543	(375)	-	83	-	10,708
租賃改良物	143,104	-	-	(146,300)	3,196	-	-
其他設備	128,261	11,381	(5,368)	-	2,556	-	136,830
累計折舊合計	1,200,352	$ 106,263	($ 30,245)	($ 161,747)	$ 22,932	$ -	1,137,555
	$ 852,012						$ 808,038
101 年度							
成本							
土地	$ 243,576	$ 10,026	($ 5,427)	$ -	$ -	$ -	$ 248,175
房屋及建築	514,051	10,919	(12,506)	2,582	(9,203)	(28,702)	477,141
機器設備	955,104	8,001	(18,392)	58,256	(9,020)	(14,533)	979,416
運輸設備	20,682	85	(366)	(802)	(3,616)	(1,869)	14,114
租賃改良物	168,301	-	-	108	(6,973)	-	161,436
其他設備	195,869	4,618	(13,365)	8,737	(6,703)	(17,074)	172,082
成本合計	2,097,583	$ 33,649	($ 50,056)	$ 68,881	($ 35,515)	($ 62,178)	2,052,364
累計折舊							
房屋及建築	222,163	$ 25,228	($ 861)	$ 25	($ 2,796)	($ 16,767)	226,992
機器設備	675,169	54,175	(18,067)	(4,993)	410	(13,156)	693,538
運輸設備	11,019	2,068	(213)	-	(3,681)	(736)	8,457
租賃改良物	116,369	30,068	-	-	(3,333)	-	143,104
其他設備	164,515	8,217	(13,363)	4,968	(19,578)	(16,498)	128,261
累計折舊合計	1,189,235	$ 119,756	($ 32,504)	$ -	($ 28,978)	($ 47,157)	1,200,352
	$ 908,348						$ 852,012

合併公司之不動產、廠房及設備係以直線基礎按下列耐用年數計提折舊：

房屋及建築	
主建物	25 至 36 年
增建工程	6 至 20 年
其他	5 年
機器設備	2 至 15 年
運輸設備	5 年
租賃改良物	5 年
其他設備	
辦公設備	5 至 10 年
景觀園藝	15 年
其他	3 至 15 年

合併公司設定抵押作為借款擔保之不動產、廠房及設備金額，參閱附註二七。

十二、投資性不動產淨額

102 年度	年初餘額	增加	重分類	淨兌換差額	年底餘額
成本					
土地	$ 1,007	$ -	$ -	$ -	$ 1,007
房屋及建築	3,513	-	-	-	3,513
成本合計	4,520	$ -	$ -	$ -	4,520
累計折舊					
房屋及建築	2,232	$ 149	$ -	$ -	2,381
	$ 2,288				$ 2,139
101 年度					
成本					
土地	$ 1,007	$ -	$ -	$ -	$ 1,007
房屋及建築	6,098	-	(2,522)	(63)	3,513
成本合計	7,105	$ -	($ 2,522)	($ 63)	4,520
累計折舊					
房屋及建築	3,827	$ 149	($ 1,702)	($ 42)	2,232
	$ 3,278				$ 2,288

投資性不動產係以直線基礎按下列耐用年數計提折舊：

房屋及建築	
主建物	25 年

合併公司之投資性不動產座落於中壢市興南段 184-2 地號，該地段因可比市場交易不頻繁且亦無法取得可靠之替代公允價值估計數，故無法可靠決定公允價值。

十三、預付租賃款

	102年12月31日	101年12月31日	101年1月1日
流　　動（帳列其他流動資產項下）	$ 854	$ 791	$ 700
非 流 動	24,889	24,544	34,381
	$ 25,743	$ 25,335	$ 35,081

係合併公司於中國大陸之土地使用權，均按 18-46 年平均認列為當年度費用，其土地用途為供興建生產廠房、辦公室及員工宿舍使用。

合併公司設定抵押作為借款擔保之預付租賃款金額，參閱附註二七。

十四、借　　款

(一) 短期借款

	102年12月31日	101年12月31日	101年1月1日
抵押借款－年利率 102 年 12 月底為 1.3%-6.3%，101 年 12 月底為 1.29%-5.6%	$ 298,992	$ 99,305	$ 293,074
信用借款－年利率 102 年 12 月底為 1.3%-7.2%，101 年 12 月底為 1.3%-8.7%	598,302	286,778	365,983
信用狀借款－年利率 102 年 12 月底為 1.30%-1.32%，101 年 12 月底為 1.29%-1.35%	82,160	71,442	108,002
擔保借款－年利率 101 年 12 月底為 1.47%-6.6%	-	297,436	326,508
其他借款－年利率 102 年 12 月底為 14.4%-25%，101 年 12 月底為 6.31%-14.4%	35,859	27,532	3,680
	$ 1,015,313	$ 782,493	$ 1,097,247

抵押借款係以本公司自有土地、建築物及合併公司之土地使用權及無活絡市場之債券投資抵押擔保，參閱附註二七。

擔保借款係由關係人裕元集團等為合併公司提供擔保。

(二) 應付短期票券

	102年12月31日	101年12月31日	101年1月1日
應付商業本票	$ 110,000	$ 136,600	$ 130,000
減：應付短期票券折價	(73)	(81)	(101)
	$ 109,927	$ 136,519	$ 129,899

尚未到期之應付短期票券如下：

保證機構	票面金額	折價金額	帳面金額	利率區間
102 年 12 月 31 日				
國際票券金融股份有限公司	$ 50,000	$ 68	$ 49,932	0.95%
兆豐票券金融股份有限公司	60,000	5	59,995	1.05%
	$ 110,000	$ 73	$ 109,927	
101 年 12 月 31 日				
國際票券金融股份有限公司	$ 66,600	$ 38	$ 66,562	0.95%-1.368%
兆豐票券金融股份有限公司	70,000	43	69,957	1.05%
	$ 136,600	$ 81	$ 136,519	
101 年 1 月 1 日				
國際票券金融股份有限公司	$ 60,000	$ 69	$ 59,931	0.9%
兆豐票券金融股份有限公司	70,000	32	69,968	1%-1.103%
	$ 130,000	$ 101	$ 129,899	

(三) 銀行長期借款

	102年12月31日	101年12月31日	101年1月1日
抵押借款			
於 107 年 9 月到期；有效年利率為 1.475%-1.7%	$ 138,500	$ 10,000	$ -
於 104 年 6 月到期；有效年利率均為 1.795%。另於本年度 3 月提前清償	-	31,628	42,502

（接次頁）

（承前頁）

	102年12月31日	101年12月31日	101年1月1日
於105年7月到期；有效年利率均為1.475%。另於本年度3月提前清償	$ -	$ 24,525	$ 31,065
	138,500	66,153	73,567
減：一年內到期部分	(24,000)	(20,625)	(18,440)
一年後到期部分	$ 114,500	$ 45,528	$ 55,127

抵押借款係以合併公司自有土地及建築物抵押擔保，參閱附註二七。

十五、其他應付款

	102年12月31日	101年12月31日	101年1月1日
應付薪資及獎金	$ 44,138	$ 40,602	$ 31,575
應付佣金	13,846	7,042	4,233
應付運費	12,419	11,676	7,326
應付員工紅利及董監酬勞	7,635	5,276	8,143
應付設備款	1,256	2,932	5,376
其　　他	98,355	103,960	117,273
	$ 177,649	$ 171,488	$ 173,926

十六、負債準備－流動

	102年12月31日	101年12月31日	101年1月1日
退貨及折讓	$ 5,030	$ 971	$ 1,049

退貨及折讓之負債準備係依歷史經驗、管理階層之判斷及其他已知原因估計可能發生之產品退回及折讓，並於相關產品出售當年度認列為營業收入之減項。

十七、退職後福利計畫

(一) 確定提撥計畫

合併公司中之本公司、肯美特公司及克哲公司適用我國「勞工退休金條例」之退休金制度，係屬政府管理之確定提撥退休計畫，依員工每月薪資6%提撥退休金至勞工保險局之個人專戶。

中國大陸之子公司係參加由當地政府機構管理及統籌之社會保險計劃。該計劃係屬確定提撥制，支付予政府管理社會保險計劃之養老保險費，於提撥時列為當年度費用。

非依中華民國法律成立之其他子公司及孫公司，未需訂定退休辦法或依當地法令規定無需提撥退休金。

(二) 確定福利計畫

本公司適用我國「勞動基準法」之退休金制度，係屬確定福利退休計畫。員工退休金之支付，係根據服務年資及核准退休日前 6 個月平均工資計算。本公司分別按員工每月薪資總額 2%及經理人每月薪資總額 8%提撥員工退休基金，交由勞工退休準備金監督委員會以該委員會名義存入台灣銀行之專戶及元大銀行退休金專戶。勞動部勞動基金運用局透過自行運用及委託經營方式，將計畫資產投資於國內（外）權益證券與債務證券及銀行存款等標的，惟依勞工退休基金收支保管及運用辦法規定，勞工退休基金之運用，其每年決算分配之最低收益不得低於當地銀行 2 年定期存款利率計算之收益。

本公司之計畫資產及確定福利義務現值，係由合格精算師進行精算。於衡量日精算評價之主要假設如下：

	102年12月31日	101年12月31日	101年1月1日
折 現 率	1.75%	1.50%	1.75%
計畫資產之預期報酬率	1.75%	1.75%	2.00%
薪資預期增加率	2.00%	2.00%	2.00%

計畫資產之整體資產預期報酬率係根據歷史報酬趨勢以及精算師對於相關義務存續期間內，該資產所處市場之預測，並考量前述計畫資產之運用及最低收益之影響所作之估計。

有關確定福利計畫所認列之損益金額列示如下：

	102年度	101年度
當期服務成本	$ 489	$ 706
利息成本	391	533
計畫資產預期報酬	(40)	(65)
縮減或清償損失	1,046	824
	$ 1,886	$ 1,998
依功能別彙總		
營業成本	$ 158	$ 650
推銷費用	35	81
管理費用	1,481	949
研發費用	212	318
	$ 1,886	$ 1,998

於 102 及 101 年度，合併公司分別認列 214 仟元及 2,231 仟元精算損益於其他綜合損益。截至 102 年及 101 年 12 月 31 日止，精算損益認列於其他綜合損益之累積金額分別為 2,445 仟元及 2,231 仟元。

本公司因確定福利計畫所產生之義務列入合併資產負債表之金額列示如下：

	102年12月31日	101年12月31日	101年1月1日
已提撥確定福利義務之現值	$ 15,384	$ 26,202	$ 30,583
計畫資產之公允價值	(324)	(1,878)	(2,623)
應計退休金負債	$ 15,060	$ 24,324	$ 27,960

確定福利義務現值之變動列示如下：

	102年度	101年度
年初確定福利義務	$ 26,202	$ 30,583
當期服務成本	489	706
利息成本	391	533
精算損失	180	2,173
縮減利益	(10,196)	(7,793)
福利支付數	(1,682)	-
年底確定福利義務	$ 15,384	$ 26,202

計畫資產現值之變動列示如下：

	102年度	101年度
年初計畫資產公允價值	$ 1,878	$ 2,623
計畫資產預期報酬	40	65
精算損失	(34)	(58)
雇主提撥數	524	718
福利支付數	(2,084)	(1,470)
年底計畫資產公允價值	$ 324	$ 1,878

計畫資產之主要類別於資產負債表日公允價值之百分比係依勞動部勞動基金運用局網站公布之基金資產配置為準：

	102年12月31日	101年12月31日	101年1月1日
海外投資	34.31	27.47	24.20
轉存金融機構	22.86	24.51	23.87
公債、金融債券、公司債	9.37	10.45	11.45

（接次頁）

（承前頁）

	102年12月31日	101年12月31日	101年1月1日
股票及受益憑證投資	8.41	9.17	10.04
短期票券	4.10	9.88	7.61
政府機關及公營事業			
經建貸款	-	-	0.13
其　　他	20.95	18.52	22.70
	100.00	100.00	100.00

合併公司選擇以轉換至 IFRSs 日起各個會計期間推延決定之金額，揭露經驗調整之歷史資訊（參閱附註三二）：

	102年12月31日	101年12月31日	101年1月1日
確定福利義務現值	$ 15,384	$ 26,202	$ 30,583
計畫資產公允價值	$ 324	$ 1,878	$ 2,623
提撥短絀	$ 15,060	$ 24,324	$ 27,960
計畫負債之經驗調整	$ 484	$ 479	$ -
計畫資產之經驗調整	$ 34	$ 58	$ -

本公司預期於 102 及 101 年度以後一年內對確定福利計畫提撥分別為 725 仟元及 840 仟元。

十八、權　　益

(一) 資本公積

	102年12月31日	101年12月31日	101年1月1日
股票發行溢價	$ 72,999	$ 31,977	$ 31,977
庫藏股票交易	28,809	28,809	28,809
其　　他	-	33,248	33,248
	$ 101,808	$ 94,034	$ 94,034

資本公積中屬超過票面金額發行股票之溢額（包括以超過面額發行普通股及庫藏股票交易等）及受領贈與之部分得用以彌補虧損；亦得於公司無虧損時，用以發放現金股利或撥充股本。惟撥充股本時，每年以實收股本之一定比率為限。

因採用權益法之投資、員工認股權及認股權產生之資本公積，不得作為任何用途。

(二) 保留盈餘及股利政策

依照章程規定，本公司年度盈餘於完納一切稅捐、彌補以往年度虧損、提列 10%法定盈餘公積並依法提列或迴轉特別盈餘公積後，如尚有餘額下得：

1. 員工紅利為 3%至 5%及董監酬勞為 2%。
2. 股東紅利由董事會擬具分配議案，提請股東會決議分派之。

本公司之股利政策考量未來營運擴展及資本支出滿足最佳資本預算及每股盈餘稀釋程度之前提下，每年度分配之盈餘佔可供分配盈餘至少 50%以上，其中，發放股東紅利時，其現金股利所佔比例不得低於 25%。

本公司 102 及 101 年度分別估列應付員工紅利 4,041 仟元及 2,988 仟元，暨董監酬勞 1,616 仟元及 1,195 仟元，係依據過去經驗以可能發放之金額為估列基礎。年度終了後，董事會決議之發放金額有重大變動時，該變動調整原提列年度費用；至股東會決議日時，若金額仍有變動，則依會計估計變動處理，於股東會決議年度調整入帳。如股東會決議採股票發放員工紅利，股票紅利股數按決議分紅之金額除以股票公允價值決定，股票公允價值係指股東會決議日前一日之收盤價，並考量除權除息之影響為計算基礎。

本公司於分配 101 年度以前之盈餘時，必須依(89)台財證(一)字第 100116 號函及金管證一字第 0950000507 號函令等相關規定提列特別盈餘公積。嗣後股東權益減項金額如有減少，可就減少金額自特別盈餘公積轉回未分配盈餘。

自 102 年起，本公司依金管會於 101 年 4 月 6 日發布之金管證發字第 1010012865 號函令及「採用國際財務報導準則（IFRSs）後，提列特別盈餘公積之適用疑義問答」規定提列及迴轉特別盈餘公積。首次採用 IFRSs 因對本公司減少保留盈餘，故未提列特別盈餘公積。

法定盈餘公積應提撥至其餘額達公司實收股本總額時為止。法定盈餘公積得用以彌補虧損。公司無虧損時，法定盈餘公積超過實收股本總額 25%之部分除得撥充股本外，尚得以現金分配。

分配未分配盈餘時，除屬非中華民國境內居住者之股東外，其餘股東可獲配按股利分配日之稅額扣抵比率計算之股東可扣抵稅額。

本公司分別於 102 年及 101 年 6 月股東常會決議通過 101 及 100 年度之盈餘分配案及每股股利如下：

	盈餘分配案		每股股利（元）	
	101 年度	100 年度	101 年度	100 年度
法定盈餘公積	$ 8,940	$ 2,865		
特別盈餘公積	20,698	-		
現金股利	59,633	24,860	$ 0.6	$ 0.28
	$ 89,271	$ 27,725		

上述股東會決議以現金配發之員工紅利及董監事酬勞如下：

	101 年度	100 年度
員工紅利	$ 2,988	$ 773
董監酬勞	1,195	516

上述員工紅利及董監酬勞與財務報告認列之員工紅利及董監酬勞並無差異。

101 年度之盈餘分配案、員工紅利及董監事酬勞係按本公司依據修訂前證券發行人財務報告編製準則及中華民國一般公認會計原則所編製之 101 年度財務報表並參考本公司依據修訂後證券發行人財務報告編製準則及 IFRSs 所編製之 101 年 12 月 31 日資產負債表作為盈餘分配議案之基礎。

本公司 103 年 3 月 24 日董事會擬議 102 年度盈餘分配案及每股股利如下：

	盈餘分配案	每股股利（元）
法定盈餘公積	$ 6,695	
特別盈餘公積	(20,559)	
現金股利	49,694	$ 0.5

有關 102 年度之盈餘分配案、員工分紅及董監酬勞尚待預計於 103 年 6 月 23 日召開之股東會決議。

有關本公司董事會擬議及股東常會決議之員工紅利及董監酬勞資訊，請至台灣證券交易所「公開資訊觀測站」查詢。

(三) 庫 藏 股

收 回 原 因	年 初 股 數	增 加	減 少	年 底 股 數
102 年度				
轉讓股份予員工	3,000,000	-	-	3,000,000
101 年度				
轉讓股份予員工	856,000	2,144,000	-	3,000,000

本公司持有之庫藏股票，依證券交易法規定不得質押，亦不得享有股利之分派及表決權等權利。

十九、淨 利

(一) 員工福利費用、折舊及攤銷

性 質 別	屬於營業成本者	屬於營業及營業外支出者	合 計
102年度			
短期員工福利	$ 81,724	$ 119,043	$ 200,767
退職後福利（附註十七）			
確定提撥計畫	1,997	8,979	10,976
確定福利計畫	158	1,728	1,886
其他員工福利	8,107	15,265	23,372
折舊費用	91,116	15,296	106,412
攤銷費用	1,446	1,241	2,687
101年度			
短期員工福利	78,728	116,430	195,158
退職後福利（附註十七）			
確定提撥計畫	1,950	8,329	10,279
確定福利計畫	650	1,348	1,998
其他員工福利	10,097	12,418	22,515
折舊費用	98,416	21,489	119,905
攤銷費用	696	1,979	2,675

(二) 外幣兌換淨利益（損失）

	102 年度	101 年度
外幣兌換利益總額	$ 42,609	$ 35,351
外幣兌換損失總額	(14,693)	(33,392)
淨益	$ 27,916	$ 1,959

二十、所得稅

(一) 認列於損益之所得稅

所得稅費用之主要組成項目如下：

	102 年度	101 年度
當年度所得稅		
當年度產生者	$ 38,626	$ 32,840
以前年度之調整	1,342	1,700
	39,968	34,540
遞延所得稅		
當年度產生者	153	13,167
以前年度之調整	(1,644)	-
認列於損益之所得稅費用	$ 38,477	$ 47,707

會計所得與當年度所得稅費用之調節如下：

	102 年度	101 年度
稅前淨利按法定稅率計算之所得稅費用（17%）	$ 16,286	$ 22,527
稅上不可減除之費損	21,104	16,552
免稅所得	(2,654)	-
未分配盈餘加徵	13	1,105
於其他轄區營運之子公司不同稅率之影響數	4,030	5,823
以前年度之當期所得稅費用於本年度之調整	(302)	1,700
認列於損益之所得稅費用	$ 38,477	$ 47,707

本公司、肯美特公司及克哲公司所適用之營利事業所得稅稅率為 17%，江蘇德發公司、上海博帝公司及東莞寶建公司適用之營利事業所得稅稅率為 25%。

NEOLITE、LIBERTY BELL 及 NEOTOP 依據英屬維京群島及薩摩亞稅法規定，對境外營運之國外企業之營利所得免徵所得稅。

達信公司依據香港稅法規定，對境外營運之國外企業之營利所得免徵所得稅。

EVERMAT 依據美國德拉瓦州稅法規定，對境外營運之國外企業之營利所得免徵所得稅。

鹽城德鴻公司及鹽城德寶公司於 102 及 101 年度為課稅虧損，故無須繳納企業所得稅。

CHEM-MAT 依據美國當地稅法規定，企業所得稅率為 33%；惟該公司於 102 及 101 年度之營運虧損，故無須繳納企業所得稅。

由於 103 年股東會盈餘分配情形尚具不確定性，故 102 年度未分配盈餘加徵 10%所得稅後果尚無法可靠決定。

(二) 遞延所得稅資產與負債

遞延所得稅資產及負債之變動如下：

102 年度

遞延所得稅資產	年初餘額	認列於損益	認列於其他綜合損益	年底餘額
暫時性差異				
存貨跌價損失	$ 560	$ 4,109	$ -	$ 4,669
確定福利退休計畫	4,135	(1,611)	36	2,560
國外營運機構兌換差額	2,491	-	(2,491)	-
其　他	1,054	201	-	1,255
	$ 8,240	$ 2,699	($ 2,455)	$ 8,484
遞延所得稅負債				
暫時性差異				
採用權益法之投資損益	$ 33,538	($ 15)	$ -	$ 33,523
國外營運機構兌換差額	-	-	902	902
其　他	-	1,223	-	1,223
	$ 33,538	$ 1,208	$ 902	$ 35,648

101 年度

遞延所得稅資產	年初餘額	認列於損益	認列於其他綜合損益	年底餘額
暫時性差異				
確定福利退休計畫	$ 4,753	($ 998)	$ 380	$ 4,135
國外營運機構兌換差額	-	-	2,491	2,491
存貨跌價損失	559	1	-	560
其　他	1,391	(337)	-	1,054
	$ 6,703	($ 1,334)	$ 2,871	$ 8,240
遞延所得稅負債				
暫時性差異				
採用權益法之投資損益	$ 21,613	$ 11,925	$ -	$ 33,538
國外營運機構兌換差額	937	-	(937)	-
其　他	92	(92)	-	-
	$ 22,642	$ 11,833	($ 937)	$ 33,538

(三) 未於合併資產負債表中認列遞延所得稅資產之未使用虧損扣抵金額

	102年12月31日	101年12月31日	101年1月1日
虧損扣抵	$ 49,789	$ 48,680	$ 43,889

截至 102 年 12 月 31 日止，虧損扣抵皆未被使用。

(四) 本公司兩稅合一相關資訊

	102年12月31日	101年12月31日	101年1月1日
未分配盈餘			
86 年度以前	$ 12,379	$ 12,379	$ 12,379
87 年度以後	66,698	89,765	46,590
	$ 79,077	$ 102,144	$ 58,969
股東可扣抵稅額帳戶餘額	$ 19,564	$ 34,376	$ 38,674

102 及 101 年度實際盈餘分配適用之稅額扣抵比率分別為 20.48%（預計）及 20.53%。

依所得稅法規定，本公司分配屬於 87 年度（含）以後之盈餘時，本國股東可按股利分配日之稅額扣抵比率計算可獲配之股東可扣抵稅額。由於實際分配股東之可扣抵稅額，應以股利分配日之股東可扣抵稅額帳戶餘額為準，因此本公司預計 102 年度盈餘分配之稅額扣抵比率可能與將來實際分配予股東時所適用之稅額扣抵比率有所差異。

依台財稅字第 10204562810 號規定，首次採用 IFRSs 之當年度計算稅額扣抵比率時，其帳載累積未分配盈餘應包含因首次採用國際財務報導準則產生之保留盈餘淨增加數或淨減少數。

(五) 所得稅核定情形

本公司、肯美特公司及克哲公司截至 100 年度之營利事業所得稅申報案件業經稅捐稽徵機關核定。

二一、每股盈餘

	歸屬於本公司業主之淨利	股數（仟股）	每股盈餘(元)
102 年度			
基本每股盈餘			
歸屬於本公司業主之淨利	$ 66,949	97,704	$ 0.69
具稀釋作用潛在普通股之影響			
員工分紅	-	249	
稀釋每股盈餘			
歸屬於本公司業主之淨利加潛在普通股之影響	$ 66,949	97,953	$ 0.68
101 年度			
基本每股盈餘			
歸屬於本公司業主之淨利	$ 72,752	88,887	$ 0.82
具稀釋作用潛在普通股之影響			
員工分紅	-	233	
稀釋每股盈餘			
歸屬於本公司業主之淨利加潛在普通股之影響	$ 72,752	89,120	$ 0.82

若企業得選擇以股票或現金發放員工分紅，則計算稀釋每股盈餘時，假設員工分紅將採發放股票方式，並於該潛在普通股具有稀釋作用時計入加權平均流通在外股數，以計算稀釋每股盈餘。於次年度股東會決議員工分紅發放股數前計算稀釋每股盈餘時，亦繼續考量該等潛在普通股之稀釋作用。

二二、處分子公司

NEOLITE 於 101 年 9 月 1 日處分子公司溫州德泰公司全數股權，對其喪失控制。

(一) 收取之對價

	101年9月1日
現金及約當現金	$114,908

(二) 對喪失控制之資產及負債之分析

	101年9月1日
流動資產	
現　　金	$ 6,894
應收款項	19,502
存　　貨	929
其他流動資產	4,170
非流動資產	
不動產、廠房及設備	15,021
無形資產	7,254
其他資產	957
流動負債	
應付款項	(3,073)
處分之淨資產	$ 51,654

(三) 處分子公司之利益

	101年度
收取之對價	$114,908
處分之淨資產	(51,654)
因喪失對子公司之控制自權益重分類至損益之累積兌換差額	3,035
處分利益	$ 66,289

(四) 處分子公司之淨現金流入

	101年度
以現金及約當現金收取之對價	$114,908
減：處分之現金及約當現金餘額	(6,894)
	$108,014

二三、與非控制權益之權益交易

NEOLITE 於 102 年 3 月取得 LIBERTY BELL 之持股，持股比例由 51%增加至 100%（參閱附註四）。由於該交易並未改變 NEOLITE 對 LIBERTY BELL 之控制力，故合併公司視為權益交易處理。

二四、資本風險管理

合併公司進行資本管理以確保集團內各企業能夠於繼續經營之前提下，藉由將債務及權益餘額最適化，以使股東報酬極大化。

合併公司資本結構係由合併公司之淨債務（即借款減除現金）及歸屬於本公司業主之權益（即普通股股本、資本公積、保留盈餘及其他權益項目）組成。

合併公司主要管理階層定期檢視集團資本結構，內容包括考量各類資本之成本及相關風險。合併公司依據主要管理階層之建議，將藉由支付股利、發行新股、買回股份及發行新債或償付舊債等方式平衡其整體資本結構。

二五、金融工具

(一) 公允價值之資訊

1. 短期金融商品以其在資產負債表上之帳面價值估計其公允價值，因此類商品到期日甚近，其帳面價值應屬估計公允價值之合理基礎。此方法應用於現金及約當現金、無活絡市場之債券投資、應收票據及帳款、其他應收款、以成本衡量之金融資產、存出保證金、短期借款、應付票據及帳款、其他應付款及存入保證金。

2. 長期銀行借款以其預期現金流量之折現值估計公平價值。折現率則以合併公司所能獲得類似條件之長期借款利率為準，本公司之長期銀行借款利率均屬浮動利率，帳面價值即為公平價值。長期銀行借款之利率因與市場利率接近，其未來現金流量之折現值亦與帳面價值約略相當。

(二) 金融工具之種類

	102年12月31日	101年12月31日	101年1月1日
金融資產			
放款及應收款	$ 2,018,931	$ 2,102,451	$ 1,955,181
金融負債			
以攤銷後成本衡量	2,090,700	2,271,117	2,336,991

上述金融資產係包括現金及約當現金、無活絡市場之債券投資、應收票據、應收帳款、其他應收款及存出保證金等以攤銷後成本衡量之放款及應收款。

上述金融負債係包括短期借款、應付短期票券、應付票據、應付帳款、其他應付款、長期銀行借款（含一年內到期）及存入保證金等以攤銷後成本衡量之金融負債。

(三) 財務風險管理目的與政策

合併公司主要金融工具包括應收帳款、應付帳款及借款。合併公司之財務管理部門係為各業務單位提供服務，統籌協調於金融市場操作，藉由依照風險程度與廣度分析暴險之內部風險報告監督及管理合併公司營運有關之財務風險。該等風險包括市場風險（包含匯率風險及利率風險）、信用風險及流動性風險。

1. 市場風險

合併公司之營運活動使合併公司承擔之主要財務風險為外幣匯率變動風險及利率變動風險。

合併公司有關金融工具市場風險之暴險及其對該等暴險之管理與衡量方式並無改變。有關主要財務風險之說明如下：

(1) 匯率風險

合併公司從事外幣計價之銷貨與進貨交易，因而產生匯率變動暴險。

合併公司於資產負債表日非功能性貨幣計價之貨幣性資產與貨幣性負債帳面金額（包含合併報表中已沖銷之非功能性貨幣計價之貨幣性項目），參閱附註二九。

<u>敏感度分析</u>

合併公司主要受到美金匯率波動之影響，當新台幣對美金匯率變動 1%時，合併公司於 102 年及 101 年度之稅前淨利將分別變動 3,688 仟元及 3,253 仟元。當新台幣對人民幣匯率變動 1%時，本公司 102 年及 101 年度之稅前淨利將分別變動 8,543 仟元及 1,374 仟元。集團內部向主要管理階層報告匯率風險時所使用之敏感度比率為 1%，代表管理階層對外幣匯率之合理可能變動範圍之評估。

管理階層認為敏感度分析尚無法代表匯率之固有風險，因資產負債表日之外幣暴險無法反映年中暴險情形。

(2) 利率風險

合併公司於資產負債表日受利率暴險之金融資產及金融負債帳面金額如下：

	102年12月31日	101年12月31日	101年1月1日
具公允價值利率風險			
金融資產	$ 109,396	$ 92,967	$ -
金融負債	248,487	557,061	572,926
具現金流量利率風險			
金融資產	271,435	353,352	361,506
金融負債	1,015,313	782,493	1,097,247

敏感度分析

合併公司對於浮動利率之金融資產及負債，當利率變動 0.25%時，在其他條件維持不變之情況下，合併公司 102 及 101 年度之稅前淨利將分別變動 1,860 仟元及 1,073 仟元。

2. 信用風險

合併公司交易之對象皆為信譽卓著之金融及證券機構，且亦與多家金融機構往來交易以分散風險，故合約相對人違約之可能性甚低；即使對方違約，合併公司亦不致於遭受重大之損失。

合併公司因僅與經核可之第三人交易，且合併公司之政策規定與客戶進行信用交易前，需經信用確認程序，並定期評估應收款項收回之可能性而予以提列適當備抵呆帳，故合併公司預期不致有發生重大損失之可能性。

3. 流動性風險

合併公司建立適當之流動性風險管理架構，以因應短期、中期及長期之籌資與流動性之管理需求。合併公司透過維持足夠之準備、銀行融資額度及取具借款承諾、持續地監督預計與實際現金流量，以及使金融資產及負債之到期組合配合，藉以管理流動性風險。截至 102 年 12 月 31 日暨 101 年 12 月 31 日及 1 月 1 日止，合併公司未動用之銀行融資額度分別為 709,349 仟元、1,076,914 仟元及 821,714 仟元。

流動性及利率風險表

下表詳細說明合併公司已約定還款期間之非衍生金融負債剩餘合約到期分析，其係依據合併公司最早可能被要求還款之日期，並以金融負債未折現現金流量編製，其包括利息及本金之現金流量。

以浮動利率支付之利息現金流量，其未折現之利息金額係依據資產負債表日殖利率曲線推導而得。

非衍生金融負債	加權平均有效利率（%）	1年以內	1年以上
102年12月31日			
無附息負債	-	$ 823,914	$ -
浮動利率工具	2.90%	1,015,313	-
固定利率工具	1.31%	133,987	114,500
		$ 1,973,214	$ 114,500
101年12月31日			
無附息負債	-	$ 927,263	$ -
浮動利率工具	3.56%	782,493	-
固定利率工具	1.21%	511,533	45,528
		$ 2,221,289	$ 45,528
101年1月1日			
無附息負債	-	$ 662,234	$ -
浮動利率工具	4.59%	1,097,247	-
固定利率工具	0.99%	517,799	55,127
		$ 2,277,280	$ 55,127

二六、關係人交易

合併公司間之交易、帳戶餘額、收益及費損於合併時全數予以銷除，故未揭露於本附註。除已於其他財務附註說明者外，與其他關係人間之關係及交易如下：

(一) 營業交易

	102年度	101年度
銷　　貨		
本公司法人董事之聯屬公司	$ 139,190	$ 187,228

	102 年度	101 年度
進　　貨		
本公司法人董事之聯屬公司	$ -	$ 1,524
其他關係人	3,050	-
	$ 3,050	$ 1,524

合併公司與關係人進銷貨交易價格及收款條件與非關係人無重大差異。

資產負債表日之應收關係人款項餘額如下：

	102年12月31日	101年12月31日	101年1月1日
本公司法人董事之聯屬公司	$ 9,064	$ 28,858	$ 52,353
其他關係人	10,393	18,047	11,528
	$ 19,457	$ 46,905	$ 63,881

資產負債表日之應付關係人款項餘額如下：

	102年12月31日	101年12月31日	101年1月1日
本公司法人董事之聯屬公司	$ 899	$ 2,941	$ 4,584
其他關係人	1,608	-	-
	$ 2,507	$ 2,941	$ 4,584

(二) 對關係人放款

	102年12月31日	101年12月31日	101年1月1日
其他關係人	$ 4,702	$ 4,198	$ 4,070

合併公司提供短期放款予其他關係人未收取利息及為無擔保之放款。

(三) 向關係人借款

	102年12月31日	101年12月31日	101年1月1日
本公司法人董事之聯屬公司	$ 60	$ 354,389	$ 369,460

合併公司向關係人借款之借款利率與市場利率相當，皆為無擔保借款。

(四) 對主要管理階層之獎酬

對董事及其他主要管理階層之薪酬總額如下：

	102 年度	101 年度
短期員工福利	$ 9,110	$ 11,768
退職後福利	332	331
	$ 9,442	$ 12,099

董事及其他主要管理階層之薪酬係由薪酬委員會依照個人績效及市場趨勢決定。

二七、質抵押之資產

下列資產業已提供作為銀行借款之擔保品：

	102年12月31日	101年12月31日	101年1月1日
不動產、廠房及設備	$ 340,174	$ 438,786	$ 432,254
無活絡市場之債券投資－流動	83,508	79,603	22,742
預付租賃款	25,743	25,335	35,081
	$ 449,425	$ 543,724	$ 490,077

二八、重大或有負債及未認列之合約承諾

截至 102 年 12 月 31 日已開立尚未使用信用狀餘額約為美金 1,339 仟元。

二九、外幣金融資產及負債之匯率資訊

合併公司具重大影響之外幣金融資產及負債如下：

102 年 12 月 31 日

	外幣	匯率	新台幣
金融資產			
美金	$ 19,747	29.805	$ 588,567
人民幣	228,020	4.919	1,121,632
金融負債			
美金	7,374	29.805	219,787
人民幣	54,353	4.919	267,363

101 年 12 月 31 日

	外幣	匯率	新台幣
金融資產			
美金	$ 32,755	29.040	$ 951,219
人民幣	134,695	4.66	627,681
金融負債			
美金	21,555	29.040	625,960
人民幣	105,206	4.66	490,263

101 年 1 月 1 日

	外幣	匯率	新台幣
金融資產			
美金	$ 29,031	30.275	$ 878,932
人民幣	131,647	4.807	632,827
金融負債			
美金	23,191	30.275	702,107
人民幣	88,801	4.807	426,866

三十、附註揭露事項

(一) 重大交易事項及(二)轉投資事業相關資訊

1. 資金貸與他人：附表一。
2. 為他人背書保證：附表二。
3. 年底持有有價證券情形：附表三。
4. 累積買進或賣出同一有價證券之金額達新臺幣 3 億元或實收資本額 20%以上：附表四。
5. 取得不動產之金額達新臺幣 3 億元或實收資本額 20%以上：無。
6. 處分不動產之金額達新臺幣 3 億元或實收資本額 20%以上：無。
7. 與關係人進、銷貨之金額達新臺幣 1 億元或實收資本額 20%以上：無。
8. 應收關係人款項達新臺幣 1 億元或實收資本額 20%以上：無。
9. 從事衍生工具交易：無。
10. 其他：母子公司間及各子公司間之業務關係及重要交易往來情形及金額：附表五。

11. 被投資公司資訊：附表六。

(三) 大陸投資資訊

1. 大陸被投資公司名稱、主要營業項目、實收資本額、投資方式、資金匯出入情形、持股比例、投資損益、期末投資帳面價值、已匯回投資損益及赴大陸地區投資限額：附表七。

2. 與大陸被投資公司直接或間接經由第三地區所發生下列之重大交易事項，及其價格、付款條件、未實現損益：

(1) 進貨金額及百分比與相關應付款項之期末餘額及百分比：附表五。

(2) 銷貨金額及百分比與相關應收款項之期末餘額及百分比：附表五。

(3) 財產交易金額及其所產生之損益數額：無。

(4) 票據背書保證或提供擔保品之期末餘額及其目的：附表二。

(5) 資金融通之最高餘額、期末餘額、利率區間及當期利息總額：附表一。

(6) 其他對當期損益或財務狀況有重大影響之交易事項，如勞務之提供或收受等：無。

三一、部門資訊

提供給主要營運決策者用以分配資源及評量部門績效之資訊，著重於每一交付或提供之產品或勞務之種類。合併公司之應報導部門如下：

(一) 部門收入與營運結果

1. 國內營運部門－台灣地區之製造及銷售。

2. 亞洲營運部門－台灣地區以外之亞洲國家之製造及銷售。

合併公司繼續營業單位之收入與營運結果依應報導部門分析如下：

	部門收入		部門損益	
	102 年度	101 年度	102 年度	101 年度
國內營運區	$ 2,111,563	$ 1,846,428	$ 106,433	$ 78,002
亞洲營運區	2,614,879	2,997,591	16,788	42,019
繼續營運單位總額	$ 4,726,442	$ 4,844,019	123,221	120,021

（接次頁）

（承前頁）

	部門收入		部門損益	
	102 年度	101 年度	102 年度	101 年度
利息收入			$ 3,718	$ 5,368
處分不動產、廠房及設備利益（損失）淨額			446	(2,619)
處分投資利益淨額			81	66,289
外幣兌換淨利益			27,916	1,959
利息費用			(45,637)	(61,699)
公司一般收入及利益			9,352	20,623
公司一般費用及損失			(23,298)	(17,430)
稅前淨利			$ 95,799	$ 132,512

以上報導之收入係與外部客戶交易產生，102 及 101 年度部門間銷售金額分別為 251,028 仟元及 208,584 仟元。

部門利益係指各個部門所賺取之利潤，不包含利息收入、處分不動產、廠房及設備損益、處分投資損益、外幣兌換淨損益、利息費用以及所得稅費用。此衡量金額係提供予主要營運決策者，用以分配資源予部門及評量其績效。

(二) 部門總資產及負債

	102年12月31日	101年12月31日	101年1月1日
部門資產			
國內營運區	$ 1,612,321	$ 1,475,311	$ 1,442,310
亞洲營運區	2,108,104	2,399,895	2,445,713
部門資產總額	$ 3,720,425	$ 3,875,206	$ 3,888,023
部門負債			
國內營運區	$ 860,656	$ 718,520	$ 650,006
亞洲營運區	1,354,597	1,664,677	1,765,003
部門負債總額	$ 2,215,253	$ 2,383,197	$ 2,415,009

(三) 主要產品之收入

合併公司繼續營業單位之主要產品之收入分析如下：

	102年度	101年度
PU 合成樹脂	$ 3,809,901	$ 3,904,678
PE 多元醇樹脂	591,369	606,080
其　　他	325,172	333,261
	$ 4,726,442	$ 4,844,019

(四) 地區別資訊

合併公司來自外部客戶之繼續營業單位收入依客戶所在地點區分與非流動資產按資產所在地區分之資訊列示如下：

	102年度	101年度
中國大陸（含香港）	$ 3,172,907	$ 2,881,373
台　　灣	1,165,422	1,567,507
其　　他	388,113	395,139
	$ 4,726,442	$ 4,844,019

(五) 主要客戶資訊

102 及 101 年度無來自單一客戶之收入達合併公司收入總額之 10%以上者。

三二、首次採用國際財務報導準則

(一) IFRSs 資訊之編製基礎

合併公司 102 年度合併財務報告係為首份 IFRSs 年度合併財務報告，其編製基礎除遵循附註四說明之重大會計政策外，合併公司亦遵循 IFRS 1「首次採用國際財務報導準則」之規定。

(二) 轉換至 IFRSs 之影響

轉換至 IFRSs 後，對合併資產負債表暨合併綜合損益表之影響如下：

1. 101 年 1 月 1 日合併資產負債表項目之調節

項目	我國一般公認會計原則	影響金額	IFRSs	說明
資　產				
無活絡市場之債券投資－流動	$ -	$ 22,742	$ 22,742	5.(1)
應收帳款淨額	1,275,534	1,049	1,276,583	5.(13)
其他流動資產	151,983	700	152,683	5.(5)
受限制資產	22,742	(22,742)	-	5.(1)
遞延所得稅資產－流動	1,472	(1,472)	-	5.(2)
固定資產淨額	963,293	(54,945)	908,348	5.(4)
投資性不動產	-	3,278	3,278	5.(6)
無形資產	35,294	(32,542)	2,752	5.(5)(8)
閒置資產	3,278	(3,278)	-	5.(6)
遞延費用	2,539	(2,539)	-	5.(8)
遞延所得稅資產－非流動	-	6,703	6,703	5.(2)(3)(9)
預付設備款	-	54,945	54,945	5.(4)
長期預付租賃款	-	34,381	34,381	5.(5)

（接次頁）

（承前頁）

項目	我國一般公認會計原則	影響金額	IFRSs	說明
負債				
應付費用	$ 104,786	($ 104,786)	$ -	5.(7)
其他應付款	441,110	106,860	547,970	5.(7)
負債準備－流動	-	1,049	1,049	5.(13)
遞延所得稅負債	18,505	4,137	22,642	5.(2)
應計退休金負債	23,793	4,167	27,960	4.5.(3)
權益				
保留盈餘	209,674	(851)	208,823	4.5.(2)(3)(7)(9)(10)
資本公積	94,534	(500)	94,034	5.(10)
累積換算調整數	3,797	(3,797)	-	4.

2. 101 年 12 月 31 日合併資產負債表項目之調節

項目	我國一般公認會計原則	影響金額	IFRSs	說明
資產				
無活絡市場之債券投資－流動	$ -	$ 79,603	$ 79,603	5.(1)
應收帳款淨額	1,329,747	971	1,330,718	5.(13)
其他流動資產	162,680	791	163,471	5.(5)
受限制資產	79,603	(79,603)	-	5.(1)
遞延所得稅資產－流動	1,461	(1,461)	-	5.(2)
固定資產淨額	857,675	(5,663)	852,012	5.(4)
投資性不動產	-	2,288	2,288	5.(6)
無形資產	30,529	(23,190)	7,339	5.(5)(8)
閒置資產	2,288	(2,288)	-	5.(6)
遞延費用	2,145	(2,145)	-	5.(8)
遞延所得稅資產－非流動	-	8,240	8,240	5.(2)(3)(9)
預付設備款	-	5,663	5,663	5.(4)
長期預付租賃款	-	24,544	24,544	5.(5)
負債				
應付費用	109,319	(109,319)	-	5.(7)
其他應付款	418,784	111,393	530,177	5.(7)
負債準備－流動	-	971	971	5.(13)
遞延所得稅負債	27,717	5,821	33,538	5.(2)
應計退休金負債	19,582	4,742	24,324	4.5.(3)
權益				
保留盈餘	274,218	(19,355)	254,863	4.5.(2)(3)(7)(9)(10)(11)
資本公積	94,534	(500)	94,034	5.(10)
累積換算調整數	(20,698)	20,698	-	4.
國外營運機構財務報表換算之兌換差額	-	(6,701)	(6,701)	4.

3. 101 年度合併綜合損益表項目之調節

項目	我國一般公認會計原則	影響金額	IFRSs	說明
營業收入淨額	$ 4,844,291	($ 272)	$ 4,844,019	5.(12)
營業成本	4,293,739	(270)	4,293,469	5.(12)
營業費用	432,297	(1,768)	430,529	5. (3) (12)
營業外收入及支出	31,991	(19,500)	12,491	5.(12)
所得稅費用	48,789	(1,082)	47,707	5.(3) (12)
其他綜合損益				
國外營運機構財務報表換算之兌損差額	-	(13,967)	(13,967)	4.
確定福利計畫精算損失	-	(1,852)	(1,852)	5.(3)

4. IFRS 1 豁免選項

IFRS 1「首次採用國際財務報導準則」係說明當企業首次採用 IFRSs 作為編製合併財務報告之基礎時應遵循之程序。依據該準則，合併公司應建立 IFRSs 下之會計政策，且追溯適用該等會計政策以決定轉換至 IFRSs 日（101 年 1 月 1 日）之初始資產負債表，該準則對追溯適用之原則提供若干豁免選項。合併公司採用之主要豁免選項說明如下：

企業合併

對轉換至 IFRSs 日前發生之企業合併，選擇不予追溯適用 IFRS 3「企業合併」。因此，於 101 年 1 月 1 日合併資產負債表中，過去企業合併所產生之商譽、納入合併公司之相關資產、負債及非控制權益仍依 100 年 12 月 31 日按先前一般公認會計原則所認列之金額列示。

員工福利

合併公司選擇將員工福利計畫有關之所有未認列累積精算損益於轉換至 IFRSs 日認列於保留盈餘。

累積換算差異數

合併公司於轉換至 IFRSs 日選擇將國外營運機構財務報告換算之兌換差額認定為零，並於該日認列於保留盈餘。

5. 轉換至 IFRSs 之重大調節說明

合併公司依中華民國一般公認會計原則所採用之會計政策與依 IFRSs 編製合併財務報表所採用之會計政策二者間存在之重大差異如下：

(1) 公司提供銀行存款作為債務質押擔保

中華民國一般公認會計原則下，銀行存款作為擔保品質押帳列受限制資產項下。轉換至 IFRSs 後，應將受限制資產依性質重分類至「無活絡市場債券投資」、「其他應收款」或「其他金融資產」，並依所擔保債務之流動性分別列為流動資產或非流動資產。

(2) 遞延所得稅資產及負債

中華民國一般公認會計原則下，遞延所得稅資產及負債依其相關資產或負債之分類劃分為流動或非流動項目，無相關之資產或負債者，依預期迴轉期間之長短劃分為流動或非流動項目。轉換至 IFRSs 後，遞延所得稅資產及負債一律分類為非流動項目。

中華民國一般公認會計原則下，遞延所得稅資產於評估其可實現性後，認列相關備抵評價金額。轉換至 IFRSs 後，僅當所得稅利益很有可能實現時始認列為遞延所得稅資產，不再使用備抵評價科目。

中華民國一般公認會計原則下，同一納稅主體之流動遞延所得稅資產及負債應互相抵銷，僅列示其淨額；非流動之遞延所得稅資產及負債亦同。轉換至 IFRSs 後，企業有法定執行權利將當期所得稅資產及負債互抵，且遞延所得稅資產及負債與由同一稅捐機關課徵所得稅之同一納稅主體有關者，始應將遞延所得稅資產及負債互抵。

(3) 退休金

<u>未認列過渡性淨給付義務</u>

中華民國一般公認會計原則下，首次適用財務會計準則公報第 18 號「退休金會計處理準則」所產生之未認列過

渡性淨給付義務應按預期可獲得退休金給付在職員工之平均剩餘服務年限，採直線法加以攤銷並列入淨退休金成本。轉換至 IFRSs 後，由於不適用國際會計準則第 19 號「員工福利」之過渡規定，未認列過渡性淨給付義務相關影響數應一次認列並調整保留盈餘。

確定福利退休金計畫之精算損益

中華民國一般公認會計原則下，精算損益係採用緩衝區法按可獲得退休金給付在職員工之平均剩餘服務年限攤銷認列於損益項下。轉換至 IFRSs 後，依照國際會計準則第 19 號「員工福利」規定精算之確定福利計畫精算損益將選擇立即認列於其他綜合損益項下，於權益變動表認列入保留盈餘，後續期間不予重分類至損益。

(4) 預付設備款之表達

中華民國一般公認會計原則下，購置設備之預付款通常列為固定資產項下之預付設備款。轉換至 IFRSs 後，購置設備之預付款通常列為預付款項，並分類為非流動資產。

(5) 土地使用權

中華民國一般公認會計原則下，所持有之土地使用權分類為無形資產。轉換至 IFRSs 後，土地使用權係屬國際會計準則第 17 號「租賃」之適用範圍，應予單獨列為長期預付租賃款。

(6) 投資性不動產

中華民國一般公認會計原則下，營業上供出租用途之不動產係帳列固定資產。轉換至 IFRSs 後，為賺取租金收入或資產增值或兩者兼具，而由所有者所持有之不動產，應列為投資性不動產。因此重分類前述目的持有之不動產至投資性不動產。

(7) 員工福利－短期可累積帶薪假

中華民國一般公認會計原則下，短期支薪假給付無明文規定，惟通常於實際支付時入帳。轉換至 IFRSs 後，對

於可累積支薪假給付，應於員工提供勞務而增加其未來應得之支薪假給付時認列費用。

(8) 遞延費用之重分類

中華民國一般公認會計原則下，遞延費用帳列其他資產項下。轉換至 IFRSs 後，應將遞延費用依性質重分類至不動產、廠房及設備、無形資產及預付費用。

(9) 集團公司間交易之遞延所得稅

中華民國一般公認會計原則下，集團公司間之未實現銷貨，並無明文規定計算相關遞延所得稅所應適用之稅率，而本公司係依台灣之稅率認列。轉換至 IFRSs 後，集團公司間之未實現銷貨致資產帳面金額與課稅基礎間產生暫時性差異，於計算遞延所得稅所使用之稅率應以預期資產實現或負債清償當期之稅率衡量，該稅率通常為買方所屬課稅轄區之稅率。

(10) 子公司發行新股，母公司未按持股比例認購之會計處理

中華民國一般公認會計原則下，被投資公司增發新股而投資公司未按持股比例認購，致投資比例發生變動，而使投資公司所投資之股權淨值發生增減者，其增減數應調整「資本公積－長期股權投資」及「長期股權投資」。轉換至 IFRSs 後，對子公司之所有權權益變動而未喪失控制者，應視為權益交易。此外，依台灣證券交易所發布之「我國採用 IFRSs 問答集」，不符合 IFRSs 規定或未涉及公司法及經濟部相關函令之資本公積項目，應於轉換日進行相關調整。

(11) 對關聯企業投資認列虧損超過淨投資金額

中華民國一般公認會計原則下，若因認列被投資公司之虧損，致對被投資公司之淨投資為負數，即使投資公司未擔保被投資公司之債務或未意圖繼續支持該被投資公司，但若有充分之證據顯示被投資公司將於未來短期內回復獲利，投資公司應繼續認列損失。轉換至 IFRSs 後，若

因認列被投資公司之虧損，致對被投資公司之淨投資為負數，除非投資公司有法定或推定之義務需代被投資公司償付，否則應停止按權益法認列損失，即使有充分之證據顯示被投資公司將於未來短期內回復獲利亦然。

(12) 國外營運機構功能性貨幣

中華民國一般公認會計原則下，判斷功能性貨幣之各項指標係採綜合研判。轉換至 IFRSs 後，國際會計準則第 21 號「匯率變動之影響」規定於判斷功能性貨幣時，應優先考量主要指標，再以次要指標佐證功能性貨幣之判斷。

(13) 備抵銷貨退貨及折讓

中華民國一般公認會計原則下，銷貨退貨及折讓係依經驗估計可能發生之產品退回，於產品出售當年度列為銷貨收入之減項，並認列備抵銷貨退貨及折讓作為應收帳款之減項。轉換至 IFRSs 後，原帳列備抵銷貨退貨及折讓係因過去事件所產生之現時義務，且金額或時點具有不確定性，故重分類為負債準備。

6. 現金流量表之大調整說明

依中華民國一般公認會計原則之規定，可隨時解約且不損及本金之定期存款、可隨時出售且不損及本金之可轉讓定期存單係符合現金之定義。依 IAS 7「現金流量表」之規定，持有約當現金之目的在於滿足短期現金承諾，而非為投資或其他目的。另規定，通常只有短期內（例如，自取得日起 3 個月內）到期之投資方可視為約當現金。因此，合併公司 101 年 12 月 31 日及 1 月 1 日之定期存款因屬投資目的，依 IFRSs 之規定不列為現金及約當現金。

依中華民國一般公認會計原則之規定，利息之收付及股利之收取通常分類為營業活動，股利之支付則列為融資活動，並要求採間接法編製之現金流量表應補充揭露利息費用之付現金額。依 IAS 7「現金流量表」之規定，利息及股利收付之現金流量應單獨揭露，且應以各期一致之方式分類為營業、投資或籌

資活動。因此，依 IFRSs 之規定，合併公司 101 年度利息收現數應單獨揭露。

除此之外，依 IFRSs 之合併現金流量表與依中華民國一般公認會計原則之合併現金流量表並無對合併公司有其他重大影響差異。

日勝化工股份有限公司及子公司

資金貸與他人

民國 102 年 1 月 1 日至 12 月 31 日

附表一

單位：新台幣仟元或外幣仟元

編號	貸出資金之公司	貸與對象（註一）	往來科目	是否為關係人	本年度最高餘額	年底餘額（註二）	實際動支金額	利率區間	資金貸與性質	業務往來金額	有短期融通資金必要之原因	提列備抵呆帳金額	擔保品 名稱	擔保品 價值	對個別對象資金貸與限額	資金貸與總限額	備註
0	本公司	克哲公司	其他應收款	是	$ 12,000	$ -	$ -	註三	屬短期融通資金之必要	$ -	營運週轉	$ -	—	$ -	$ 135,319（註四）	$ 541,277（註四）	
		LIBERTY BELL	其他應收款	是	120,000	119,220	21,609	註三	屬短期融通資金之必要	-	營運週轉	-	—	-	135,319（註四）	541,277（註四）	
1	江蘇德發公司	鹽城德鴻公司	其他應收款	是	29,352（人民幣 6,000）	9,838（人民幣 2,000）	404（人民幣 82）	-	屬短期融通資金之必要	-	營運週轉	-	—	-	53,051 人民幣 10,785（註五）	53,051 人民幣 10,758（註五）	（註七）
2		鹽城德原汽配有限公司	其他應收款	是	4,919（人民幣 1,000）	4,919（人民幣 1,000）	4,702（人民幣 956）	-	屬短期融通資金之必要	-	營運週轉	-	—	-	53,051 人民幣 10,785（註五）	53,051 人民幣 10,785（註五）	
3	鹽城德寶公司	鹽城德鴻公司	其他應收款	是	19,568（人民幣 4,000）	-	-	-	屬短期融通資金之必要	-	營運週轉	-	—	-	11,628 人民幣 2,364（註六）	11,628 人民幣 2,364（註六）	
4		江蘇德發公司	其他應收款	是	29,352（人民幣 6,000）	-	-	-	屬短期融通資金之必要	-	營運週轉	-	—	-	11,628 人民幣 2,364（註六）	11,628 人民幣 2,364（註六）	

註一：業已沖銷。

註二：為董事會通過資金貸與額度。

註三：依銀行借款合約約定利率。

註四：對個別對象資金貸與限額及總限額，分別為本公司之淨值 10%與不可超過最近一年內月平均交易額之兩者合計數及本公司之淨值 40%。

註五：對個別對象資金貸與限額及總限額，分別為江蘇德發公司之淨值 40%為限。

註六：對個別對象資金貸與限額及總限額，分別為鹽城德寶公司之淨值 40%為限。

註七：江蘇德發公司對鹽城德鴻公司貸與之授權額度已超過該二家公司最近期財務報表淨值之 10%，與「公開發行公司資金貸與及背書保證處理準則」第 14 條規定不符，子公司目前已擬定改善計畫並修正資金貸與作業程序，已於 102 年 9 月提報董事會通過。

日勝化工股份有限公司及子公司

為他人背書保證

民國 102 年 1 月 1 日至 12 月 31 日

附表二

單位：新台幣仟元或外幣仟元

編號	背書保證者公司名稱	被背書保證對象		對單一企業背書保證之限額	本年度最高背書保證餘額	年底背書保證餘額	實際動支金額	以財產擔保之背書保證金額	累計背書保證金額佔最近期財務報告淨值之比率	背書保證最高限額	屬母公司對子公司背書保證	屬子公司對母公司背書保證	屬對大陸地區背書保證	備註
		公司名稱	關係											
0	本公司	LIBERTY BELL	參閱合併財務報告附註四	$ 676,596 （註一）	$ 600,000 (美金 20,000)	$ 596,100 (美金 20,000)	$ 596,100 (美金 20,000)	$ -	44.05%	$ 676,596 （註一）	Y	—	—	
1	NEOLITE	江蘇德發公司	參閱合併財務報告附註四	307,333 （註二）	90,000 (美金 3,000)	89,415 (美金 3,000)	30,401 (美金 1,020)	-	14.55%	307,333 （註二）	Y	—	Y	
2	鹽城德寶公司	江蘇德發公司	參閱合併財務報告附註四	- （註三）	9,838 (人民幣2,000)	9,838 (人民幣2,000)	4,673 (人民幣 950)	-	33.84%	- （註三）	—	—	Y	（註五）
3	鹽城德鴻公司	江蘇德發公司	參閱合併財務報告附註四	- （註四）	9,838 (人民幣2,000)	9,838 (人民幣2,000)	6,641 (人民幣1,350)	-	-	- （註四）	—	—	Y	（註五）

註一：對個別對象背書保證限額及最高限額，分別為本公司之淨值 50%為限。

註二：對個別對象背書保證限額及最高限額，分別為 NELOITE 公司之淨值 50%為限。

註三：對個別對象背書保證限額及最高限額，分別為不得超過最近一年內該項業務（進項或銷項孰高者）往來之季平均金額。

註四：對個別對象背書保證限額及最高限額，分別為鹽城德鴻公司之淨值 50%為限。

註五：鹽城德寶公司對江蘇德發公司因無業務往來不得為其背書保證，鹽城德鴻公司對江蘇德發公司之背書保證金額超限，違反「公開發行公司資金貸與及背書保證處理準則」第 5、12 條規定，子公司目前已擬定改善計畫並修正背書保證作業程序，已於 102 年 9 月提報董事會通過。

日勝化工股份有限公司及子公司

年底持有有價證券情形

民國 102 年 12 月 31 日

附表三

單位：新台幣仟元或外幣仟元／仟股

持有之公司	有價證券種類及名稱	與有價證券發行人之關係	帳列科目	年底 股數／單位數	年底 帳面金額	年底 持股（權）%	年底 公允價值
江蘇德發公司	股　票						
	寧靖鹽高速公路有限公司	無	以成本衡量之金融資產	人民幣 450	$ 2,214	-	$ -
	射陽德成樹脂有限公司	無	以成本衡量之金融資產	人民幣 6,140	30,204	11.03	30,204

日勝化工股份有限公司及子公司

累積買進或賣出同一有價證券之金額達新台幣 3 億元或實收資本額 20%以上

民國 102 年 1 月 1 日至 12 月 31 日

附表四

單位：外幣仟元／仟股

買賣之公司	有價證券種類及名稱	帳列科目	交易對象	關係	年初（註一） 股數	年初（註一） 金額	買入 股數	買入 金額	賣出 股數	賣出 售價	賣出 帳面成本	賣出 處分（損）益	年底（註一） 股數	年底（註一） 金額
NEOLITE	股　票													
	LIBERTY BELL	採權益法之長期股權投資	裕元集團	本公司法人董事之聯屬公司	8,160	$ 114,819 (美金 3,954)	7,840	$ 146,998 (美金 5,000)	-	$ -	$ -	$ -	21,000	$ 410,297 (美金 13,766)
	LIBERTY BELL	採權益法之長期股權投資	（註二）	—	-	-	5,000	148,935 (美金 5,000)	-	-	-	-		

註一：包括採權益法認列之投資損益及累積換算調整數等。

註二：係辦理現金增資。

日勝化工股份有限公司及子公司

母公司與子公司及各子公司間之業務關係及重要交易往來情形及金額

民國 102 年 1 月 1 日至 12 月 31 日

附表五

單位：新台幣仟元或外幣仟元

編號	交易人名稱（註一）	交易往來對象	與交易人之關係（註二）	交易往來情形			
				科目	金額	交易條件	佔合併總營收或總資產之比率（%）
0	本公司	NEOLITE	1	應收帳款	$ 32,553	依其資金狀況而定	1
		NEOLITE	1	銷貨收入	124,671	依其資金狀況而定	3
		肯美特公司	1	應收帳款	18,048	依其資金狀況而定	-
		肯美特公司	1	銷貨收入	47,374	依其資金狀況而定	1
		LIBERTY BELL	1	應收帳款	35,296	依其資金狀況而定	1
		LIBERTY BELL	1	其他應收款	39,353	依其資金狀況而定	1
		LIBERTY BELL	1	銷貨收入	72,236	依其資金狀況而定	2
1	NEOLITE	LIBERTY BELL	2	應收帳款	5,184	依其資金狀況而定	-
		LIBERTY BELL	2	其他應付款	3,525	依其資金狀況而定	-
		江蘇德發公司	2	應收帳款	2,363	依其資金狀況而定	-
		NEOTOP	2	其他應收款	59,610	依其資金狀況而定	2
2	江蘇德發公司	鹽城德鴻公司	2	應收帳款	29,919	依其資金狀況而定	1
		鹽城德鴻公司	2	銷貨收入	6,901	依其資金狀況而定	-

註一：業已沖銷。

註二：與交易人之關係：(1)母公司對子公司；(2)子公司對子公司。

日勝化工股份有限公司及子公司

被投資公司資訊

民國 102 年 1 月 1 日至 12 月 31 日

附表六

單位：新台幣仟元或外幣仟元／仟股

投資公司名稱	被投資公司名稱	所在地區	主要營業項目	原始投資金額		年底持有			被投資公司本年度（損）益	本年度認列之投資利益
				本年年底	去年年底	股數	比率%	帳面金額		
本公司	NEOLITE	英屬維京群島	財務投資及國際貿易	$ 413,902	$ 324,306	13,059	100	$ 610,265	$ 9,850	$ 9,850
	肯美特公司	中華民國	塗料、顏料及工業助劑批發業	51,500	51,500	3,450	47.92	66,055	15,106	7,238
	克哲公司	中華民國	化工原料之買賣業務	97,367	12,367	-	100	110,133	8,378	8,378
肯美特公司	EVERMAT	美國德拉瓦州	投資業	美金 22	美金 22	-	100	583	(106)	（註二）
EVERMAT	CHEM-MAT	美國加州	塗料、顏料及工業助劑批發業	美金 358	美金 358	10	100	570	(美金 4)	（註二）
克哲公司	NEOTOP	薩摩亞	財務投資及國際貿易	58,800	-	-	100	66,851	6,914	（註二）
NEOLITE	LIBERTY BELL	英屬維京群島	財務投資及國際貿易	美金 18,126	美金 8,126	21,000	100	410,297	美金 1,013	（註二）
	達信公司	香港	財務投資及國際貿易	美金 12	美金 12	-	100	768	(1)	（註二）

註一：業已沖銷。

註二：依規定得免填列。

日勝化工股份有限公司及子公司

大陸投資資訊

民國 102 年 1 月 1 日至 12 月 31 日

附表七

單位：新台幣仟元或外幣仟元

大陸被投資公司名稱	主要營業項目	實收資本額	投資方式	本年年初自台灣匯出累積投資金額	本年度匯出或收回投資金額		本年年底自台灣匯出累積投資金額（註二）	被投資公司本年度損益	本公司直接或間接投資之持股比例	本年度認列投資（損）益（註四）	年底投資帳面價值	截至本年底止已匯回投資收益
					匯出	收回						
博帝上海公司	化工產品批發	$ 32,399 人民幣8,053	（註一）	$ 26,450 美金 820	$ -	$ -	$ 26,450 美金 820	$ 23,323 人民幣4,869	100%	$ 23,323 人民幣4,869	$ 66,851 人民幣13,590	$ -
鹽城德鴻公司	聚氨脂樹脂產銷	38,879 人民幣9,960	（註一）	7,741 美金 240	-	-	7,741 美金 240	(13,868) (人民幣2,885)	65.7% （註三）	(9,111) (人民幣1,895)	(26,288) (人民幣5,344)	-
鹽城德寶公司	環保節能新型牆體免燒空心磚塊	44,711 人民幣11,454	（註一）	-	-	-	-	(397) (人民幣 83)	51%	(203) (人民幣 42)	14,826 人民幣3,014	-
江蘇德發公司	聚氨脂樹脂產銷	113,397 人民幣26,250	（註一）	51,932 美金 1,610	-	-	51,932 美金 1,610	(32,180) (人民幣6,694)	51%	(16,412) (人民幣3,414)	67,639 人民幣13,751	-
東莞寶建公司	PU 樹脂生產及銷售	518,956 美金 16,000	（註一）	244,425 美金 7,576	-	-	244,425 美金 7,576	30,111 美金 1,013	100%	31,643 美金 1,065	410,297 美金 13,766	-
溫州德泰公司	聚氨脂樹脂產銷	38,879 人民幣9,973	（註一）	33,690 美金 1,045	-	-	33,690 美金 1,045	- （註五）	- （註五）	- （註五）	- （註五）	2,928 人民幣 701
晉江德福樹脂有限公司（晉江德福公司）	聚氨脂樹脂產銷	38,879 人民幣10,000	（註一）	6,290 美金 195	-	-	6,290 美金 195	- （註六）	- （註六）	- （註六）	- （註六）	-
溫州日勝鞋材有限公司（溫州日勝公司）	聚氨脂樹脂產銷	97,197 人民幣24,830	（註一）	26,127 美金 810	-	-	26,127 美金 810	- （註七）	- （註七）	- （註七）	- （註七）	9,526 人民幣2,281

本年年底累計自台灣匯出赴大陸地區投資金額	經濟部投審會核准投資金額	依經濟部投審會規定赴大陸地區投資限額
$ 396,655 (美金 12,296)	$ 905,715 (美金 28,626)（註八）	（註九）

註一：係透過第三地區投資設立公司再投資大陸公司。

註二：包含以設備及專門技術投資，但不包含獲配大陸投資事業之盈餘再轉投資及經由第三地區匯款投資大陸公司。

註三：透過 NEOLITE 持股 30%及透過江蘇德發公司持股 70%。

註四：係依據被投資公司同期間經會計師查核之財務報告認列。

註五：溫州德泰公司已於 101 年 9 月全數處分，不再持有股權及投資額，目前報備投審會之文件尚在送件中。

註六：晉江德福公司已於 98 年全數處分，不再持有股權及投資額，目前報備投審會文件尚在送件中。

註七：溫州日勝公司已於 96 年全數處分，不再持有股權及投資額，目前報備投審會文件尚在送件中。

註八：經濟部投審會核准投資金額為美金 28,626 仟元，其中利用第三地區投資事業（即 NEOLITE）受配大陸投資事業之盈餘轉投資各大陸地區投資事業美金 5,591 仟元免計入限額。

註九：依投審會 97 年 8 月 29 日「在大陸地區從事投資或技術合作審查原則」規定，本公司取得經濟部工業局核發符合營運總部營運範圍證明文件，赴大陸地區投資金額不設上限。